

next steps

for the Christian life

クリスチャンの人生のネクスト・ステップ



mustardseedjapan.com

next steps

for the Christian life

クリスチャンの人生のネクスト・ステップ

Permissions

This resource was created in order to glorify God by making disciples through planting gospel-centered churches in Japan.

Thank you for your interest in sharing this resource.

You are welcome to print and distribute Next Steps in its entirety or an unaltered excerpt, as long as you do not charge a fee.

You are welcome to post unaltered excerpts of Next Steps on a website. Please provide a link back to the full resource on our website (mustardseedjapan.com).

Please use the following attribution:
© Mustard Seed Network (mustardseedjapan.com)

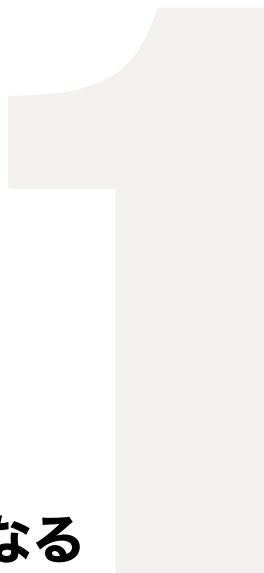
Scripture quotations are from the ESV® Bible (The Holy Bible, English Standard Version®), copyright © 2001 by Crossway, a publishing ministry of Good News Publishers. Used by permission. All rights reserved.

聖書 新改訳©1970,1978,2003新日本聖書刊行会

First Edition 2017

目次 Table of Contents

ステップ 1 : キリストの弟子となる Step 1: Discipleship	4
ステップ 2 : 愛 Step 2: Love	20
ステップ 3 : 祈り Step 3: Prayer	30
ステップ 4 : 聖書 Step 4: Bible	54
ステップ 5 : 礼拝 Step 5: Worship	68
ステップ 6 : 教会 Step 6: Church	84
ステップ 7 : 献金 Step 7: offering	100
ステップ 8 : 家族 Step 8: Family	118
ステップ 9 : 奉仕 Step 9: Service	140
ステップ 10 : 勤勉 Step 10: Work	152
ステップ 11 : 霊的な攻撃 Step 11: Opposition	168
ステップ 12 : いのち Step 12: Life	186



ステップ1 キリストの弟子となる

💬 考えましょう：クリスチャンとして生きるとは、どういう意味だと思いますか？

クリスチャンの人生は、聖書では頻繁に「旅」に例えられています。イエスは私たちに、主に従って旅をなさいと招かれ（マルコの福音書1章17節）、また、いのちに至る「狭い」道を行きなさいと言われます（マタイの福音書7章14節）。パウロは、クリスチャンとして生きることはキリストという名の栄冠を目指して走るレースのようなものだ、と言いました（テモテへの手紙第2章4章7節）。初期の頃のキリスト教は「道」として知られ（使徒の働き9章2節）、クリスチャンは「キリストが歩まれたように歩まなければなりません」とヨハネは記しています（ヨハネの手紙第一2章6節）。そしてイエスは、ご自身こそ神への「道」と言われました（ヨハネの福音書14章6節）。

ネクスト・ステップでは、これから12のレッスンを通して、クリスチャンの歩みの基礎的な「ステップ」を学びます。これらのレッスンは私たちが今すぐ達成しなければならない課題ではなく、人生を通して学び、互いに思い起こさせ、生きている限り実践し続けるものです。



Step 1 Discipleship

💬 Consider: What do you think it means to live as a Christian?

The Christian's life is frequently described in the Bible in terms of a journey. Jesus calls us to "follow" him on this journey (Mark 1:17). Jesus tells us to walk the "difficult path" that leads to life (Matthew 7:14). Paul describes living as a Christian as a "race" in which Christ is the reward (2 Timothy 4:7). Christianity was first known as "The Way" (Acts 9:2). Christians must "walk in the same way Jesus walked" (1 John 2:6). And Jesus said that he himself is "the way" to God (John 14:6).

The twelve lessons in Next Steps are foundational "steps" for the Christian walk. They are not tasks we accomplish but life-long practices we learn, remind one another of, and continually follow our entire life.

イエスに従う

クリスチャンは誰でも、イエスに招かれたことによって、イエスに愛され、救われ、赦され、そして神の子とされました。そしてイエスは私たちが弟子となるように招かれました。マルコの福音書の冒頭部分で、イエスは男の人数人に、イエスの弟子となるように呼びかけられました。

マルコによる福音書 1 章 17 節



イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

ここで初めの弟子たちに語られたのと同じ言葉で、イエスは私たちをも招いておられます。イエスの弟子になるということをシンプルに言い表すと、イエスに従い、人間をとる漁師となることなのです。**ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分れています。**各レッスンにおいて、まず「神のことば」では、弟子である私たちがイエスに従う者として、他のクリスチャンと共に成長することに焦点を当てています。続いて「神の使命」では、私たちが弟子を育てること、つまり人間をとる漁師として成長することを中心に学びます。

神のことば

イエスに従うとは、イエスの行動に倣いイエスの命令に従うということです。イエスは現代の世界に肉体的には存在しておられませんが、イエスはさらに素晴らしいものを与えてくださっています。イエスの霊（聖霊）はクリスチャンひとりひとりの内に宿り、決して離れることはありません。そして私たちには聖書という神のことばがあります。聖書には、私たちがクリスチャンとして生きる上で必要とする教えがすべて書かれています。私たちは神のことばである聖書を読むことで、イエスの行動や命令を知ることができるのです。

Following Jesus

All of us as Christians are loved, saved, forgiven, and adopted because Jesus has called us to himself. Jesus called us to become his disciples. At the beginning of Mark's gospel, Jesus called several men to become his disciples.

Mark 1:17



And Jesus said to them, "Follow me, and I will make you become fishers of men."

This invitation from Jesus to his first disciples is also what Jesus has called us to and serves as a simple outline of what it means to be Jesus' disciple: follow Jesus and fish for men. **Next Steps are designed to help us grow as disciples, in the context of Christian community, by focusing on two categories: God's Word and God's Mission.** In each lesson the "God's Word" section emphasizes our discipleship and seeks to help us grow with other Christians as followers of Jesus. The "God's Mission" sections emphasize our discipling and seeks to help us grow as fishers of men.

God's Word

The essence of following Jesus is doing what he did and obeying what he commanded. Though Jesus is not bodily present in the world today, we have something that Jesus said is even better! Jesus' Spirit is with each and every Christian, always, wherever we go. And we have the Bible, which is God's Word, sufficient to instruct us about everything we need for the Christian life. We see what Jesus did and hear what Jesus commanded through reading God's Word, the Bible.

クリスチャンとしての成長

弟子として成長するとはどういう意味でしょうか？それは、イエスご自身やイエスの教えに関する知識が増える、ということだけではありません。弟子として成長するということは、イエスが示し教えられたことに倣い、それを行い、従い、実践するということです。イエスは弟子たちに「命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい」と言われました（マタイの福音書28章20節）。イエスに従うと決めたなら、イエスが何を命じられているかを学び、すぐにそれに従い始めるべきです。弟子としての成熟度は、知識の量ではなく、従順であるかどうかで見分けられるからです。

イエスとの関係

イエスは神、救い主、主人、先生です。イエスはまた、ご自身を私たちの友だと言っておられます。

ヨハネによる福音書15章13～15節



人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行うなら、あなたがたはわたしの友です。わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら、父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。

イエスは私たちと親しい関係を持ちたいと願っておられます。そして、私たちがイエスの戒め（命令）を守るなら、私たちもイエスの友になれます。また、イエスは「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです」と言われました（ヨハネによる福音書14章15節）。



考えましょう：私たちがイエスを愛するなら、イエスに従うはずですか。それはなぜだと思いますか？

Growing as a Christian

What does it mean to grow as a disciple? It is more than merely increasing in knowledge about Jesus and Jesus' teaching. Growing as a disciple means we follow, we do, we obey, we practice what Jesus modeled and taught. Jesus said that disciples must be taught "to observe all that [he] commanded" (Matthew 28:20). When following Jesus we should immediately begin to obey each of Jesus' commands as we learn them. Our maturity as a disciple is measured not by how much we know but by how much we obey.

Relationship with Jesus

Jesus is God; he is Savior; he is Master; he is Teacher. Jesus also said that he is our friend:

John 15:13-15



Greater love has no one than this, that someone lay down his life for his friends. You are my friends if you do what I command you. No longer do I call you servants, for the servant does not know what his master is doing; but I have called you friends, for all that I have heard from my Father I have made known to you.

Jesus wants a relationship with us. And we are his friends if we do what he commanded. Furthermore, Jesus said, "If you love me, you will keep my commands" (John 14:15).



Consider: If we have love for Jesus we will obey him. Why do you think this is so?

恵みによって歩む弟子

私たちがイエスに従うのは、イエスが私たちを愛し、救い、赦し、神の子としてくださったからです。私たちはイエスに受け入れていただくために従うではありません。事実、私たちが何をしたとしても、神に受け入れられるほどの行いはできません。イエスは唯一人、完全に神に従う人生を生きたお方で、私たちの罪が赦されるために十字架で死なれ、私たちを義とするためによみがえってくださいました。私たちはただ恵みによって、信仰によって、イエスによって、救われたのです。クリスチャンとして生きる旅の途中でも、私たちは罪を犯すでしょう。しかし、私たちがまだ弱い罪人であったとき、イエスを信じる信仰によって神が私たちを受け入れてくださったように、私たちが罪を犯してつまずくときも、神の恵みが私たちを満たし、支えてくれるのです。

イエスは何を命じられたのでしょうか？

イエスは多くのことを教えられました。その教えの中で、人間に与えられている最も偉大な戒め（命令）が、神と人を愛せよ（ステップ2）ということも教えられました。つまり、神を愛することはイエスに従う土台であり動機です。そして、私たちの人生の目的でもあります。イエスは私たちに祈ることを教えてくださいました（ステップ3）。そして神のことばを読むことで（ステップ4）、私たちは礼拝（ステップ5）、クリスチャンの交わり（ステップ6）、献金（ステップ7）など、イエスが命じられている様々なことを知ることができます。

交わりの内にある弟子

私たちがクリスチャンとして人生を歩む上で、イエスは私たちが他のクリスチャンとの交わりの内に生きるように、と招いておられます。私たちは一人で信仰生活を送るべきではありません。仲間の弟子たちは、聖書に書いてあるイエスの命令に気付き、それらを心に留め、理解する助けとなってくれます。そして私たちがイエスに従えなかったとき、主の恵みをいつも思い起こさせてくれるのも、その仲間です。ネクスト・ステップは、弟子たちのスモール・グループで共に学ぶために作られています。

Grace and Discipleship

We follow Jesus because we are loved, saved, forgiven, and adopted. We do not follow Jesus in order to be accepted. In fact, nothing we do can earn us God's acceptance. Jesus is the one who lived the perfect life of obedience to God, died in our place on the cross for our forgiveness, and rose to life for our justification. We are saved by grace alone, through faith alone, in Jesus alone. Along the journey of the Christian life we will sin, but just as God accepted us through faith in Jesus when we were broken sinners, so his grace will restore us and sustain us when we sin and fail.

What Did Jesus Command?

Jesus taught many things. Jesus taught us that the greatest commandment is to love God and others (Next Steps 2). In fact, loving God is the foundation and motivation of following Jesus and is the purpose for our lives. Jesus taught us to pray (Next Steps 3). And through reading God's Word (Next Steps 4) we can learn the many other commands of Jesus, including worship (Next Steps 5), gathering in Christian community (Next Steps 6), and offering (Next Steps 7).

Discipleship in Community

Jesus calls us to follow him in the context of a community of other followers. We are not meant to live the Christian life alone. Fellow disciples help us see, pay attention to, and understand Jesus' commands in the Bible; they hold us accountable to his commands; and they remind us of Jesus' grace when we fail to obey his commands. Next Steps is intended to be used in the context of a small group of disciples.

ネクスト・ステップのレッスンには、それぞれのメンバーがその週の間、どのように神のことばに具体的に従う必要があるか、を分かち合う時間が設けられています。グループのメンバーは、それぞれ前の週に学んだことについて、神のことばに従うことができたかどうか尋ね合い、お互いの歩みを把握できるようにします。また、メンバーは互いの重荷を分かち合い、励まし合い、祈り合うことで、クリスチャンの交わりを楽しむことができるでしょう。

神の使命

イエスについて行くなら、イエスは私たちを、人間をとる漁師にすると言われました。これはつまり、神の愛がイエスの内に現されている「福音」という名の網を人々の内に投げ入れる、ということです。私たちはこれを、マタイの福音書28章に記されている「弟子とみなさい」というイエスの命令に従って行くのです。

神の救いの使命：

ヨハネによる福音書3章16～17節



神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

神の願い：

テモテへの手紙第一2章3～4節



そうすることは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることなのです。神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

神はすべての人が救われることを願っておられます。イエスを信じる人は誰でも救われますが、そのためにはまず、福音を聞く必要があります！

Each Next Steps lesson will challenge each individual to share with the group how they need to concretely obey God's Word that week. Group members will hold one another accountable by asking one another how they have obeyed what they learned in the previous lesson. And group members should enjoy Christian fellowship with one another by carrying one another's burdens, encouraging one another, and praying for one another.

God's Mission

Jesus told us that if we follow him, he will make us become fishers of men. This means that like fishermen, we cast out the gospel of God's love in Jesus to everyone we can in obedience to Jesus' command in Matthew 28, "make disciples."

God's mission:

John 3:16-17



For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life. For God did not send his Son into the world to condemn the world, but in order that the world might be saved through him.

God's desire:


1 Timothy 2:3-4




This is good, and it is pleasing in the sight of God our Savior, who desires all people to be saved and to come to the knowledge of the truth.

God wants all people to be saved, and anyone can be saved if they believe in Jesus. But they need to hear first!


ローマ人への手紙10章13～15節

 「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです。しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。

 考えましょう：あなたに神の愛と福音を伝えるために、神は誰をあなたの人生に遣わされましたか？

イエスの弟子は、誰でも人間をとる漁師になるよう招かれています！すべてのクリスチャンは、神の救いのご計画が実現されるよう、それぞれに果たすべき使命が与えられています。ですから、神の救いのご計画は私たちの使命なのです。


マタイによる福音書28章18～20節


 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

神は、あらゆる国の人々（つまりあらゆる民族、あらゆる言語）がイエス・キリストを信じ救われることを願っておられます。クリスチャンとして、私たちはこのグローバル・ミッションに加わっているのです。まずは、私たちの家庭や日常的に関わりのある人々の間で弟子作りを始めてみましょう。そして世界の果てまで広がっていくのです。弟子を作ることは、私たちの弟子としての成長の大切な一部です。

では、実際にはどのように始めたら良いのでしょうか？ここで、神の使命を今すぐ始めるための3つの実践的な方法をご紹介します！


Romans 10:13-15

 *For “everyone who calls on the name of the Lord will be saved.” How then will they call on him in whom they have not believed? And how are they to believe in him of whom they have never heard? And how are they to hear without someone preaching? And how are they to preach unless they are sent?*

 *Consider: Who did God send into your life to tell you about his love and gospel?*

Every disciple of Jesus is called to be a fisher of men! Every Christian is called to fulfill God's Mission. Therefore, God's Mission is our mission.

Matthew 28:18-20

 *And Jesus came and said to them, “All authority in heaven and on earth has been given to me. Go therefore and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit, teaching them to observe all that I have commanded you. And behold, I am with you always, to the end of the age.”*

God desires that people from every nation (meaning every ethnicity and language) will be saved through faith in Jesus Christ. As Christians we get to be a part of this global mission. It starts with making disciples among those in our own house and those we encounter in daily life and extends to the ends of the earth. Making disciples--discipling--is a core part of our discipleship.

Practically, how can we start? Here are three practical ways to begin doing God's Mission right now!

1. 祈りのリストを作る

紙とペンを用意するか、もしくはスマートフォンのメモ機能があるアプリを開きましょう。静かに一人で神に祈り、家族や友人、職場の同僚、近所の人、知人、その他誰でも、あなたの人生に関わりを持つ人の中で、クリスチャンでない人を思い浮かべることが出来るよう、神に尋ね求めます。思い浮かんだ人の名前を書き留めましょう。何人の名前がリストにあるでしょうか？そこに書かれた人々のために、毎日祈るという目標を立てましょう。まず、彼らに福音を分かち合うための知恵と、その機会が与えられるように祈ります。そして、聖霊が彼らに神を求める思いを与え、彼らが福音を聞くために整えられ、あなたが彼らに福音を語るときにイエスを信じることができるように祈りましょう。

2. あなたの証を準備しましょう

弟子を作るためには、福音を分かち合う必要があります。福音を伝えるときに一番良い方法のひとつは、まず個人的な証を分かち合うことです。マルコの福音書5章19節で、イエスは男の人にこう言われました。「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」まずしばらく時間を取って、ブレインストーミングをしてみましょう。神は私たちそれぞれにどんなことをしてくださいましたか？そして、神は私たちの人生をどのように変えてくださいましたか？

次の簡単なアウトラインを、証を準備するひとつの方法として参考にしてください。（1）イエスに出会う前は、どんな人生を歩んでいましたか？（2）イエスにどのように出会って、信じるようになりましたか？（3）イエスによって、あなたの人生はどう変わりましたか？（例：私は仕事で成功することで幸せになると思っていましたが、心は空しいままでした...私の同僚がイエス様のことを話してくれました...今は、イエス様が私の人生に目的と意味を与えてくださいました。）

飾らず、正直に、神があなたにしてくださったことを証しましょう。神の救いが実現した唯一無二のあなたのストーリーは、まさに奇跡です。他の人がイエスを知るための大きな助けとなるでしょう。

1. Make a Prayer List


Take out a piece of paper and pen, or open a note app on your phone. Silently and by yourself pray to God and ask him to help you think of every family member, friend, coworker, neighbor, acquaintance, or anyone else in your life who is not a Christian. Write down their names. How many names are on your list? Set a goal to pray for the people on this list everyday. First, pray that God will give you wisdom in how to share the gospel with them, and opportunities to do so. Second, pray that the Holy Spirit will prepare them to hear the gospel message by giving them a heart that is hungry for God, so that when you share the gospel with them, they will put faith in Jesus. Prayer List:

2. Prepare Your Testimony

In order to make disciples we need to share the gospel. One of the best ways to share the gospel is by first sharing our personal testimony. This is what Jesus told a man in Mark 5:19, "Go home to your friends and tell them how much the Lord has done for you, and how he has had mercy on you." Let's take a few minutes to brainstorm what God has done for us individually, and how he has changed our lives.

One way to prepare your testimony is to follow this simple outline: (1) What was your life like before you met Jesus? (2) How did you come to encounter and believe in Jesus? (3) What difference has Jesus made in your life? (Example: I was looking for happiness through success at work but felt empty... My coworker told me about Jesus... Now Jesus has given purpose and meaning to my life...)


Be authentic and honest as you share what God had done for you. Your unique story of God rescuing you is miraculous and effective for helping others know Jesus.

 そして、あなたのグループのメンバーと、証をする練習をしましょう。


3. 福音を分かち合う

あなたのストーリーを分かち合ったら、今度はイエスのストーリーを分かち合う必要があります。福音の伝え方は様々ですが、あなたとのファースト・ステップの学びに誘ってみるのもひとつの方法です。ファースト・ステップは5回から成るバイブルスタディーで、誰でもどこでも行うことができます。

イエスに従う歩みは本来交わりの内にあるように、神の使命もまた、交わりの内に実践されるべきです。ネクスト・ステップの各レッスンでは、誰かに福音を分かち合うという目標を立て、お互いのために祈ります。また、近況を報告し合い、そのプロセスの中で励まし合います。

 では早速、各自目標を決めて、お互いのために祈りましょう。あなたの祈りのリストを見て、今日から2週間の間に、あなたの証と福音を分かち合いたいと思う人を1～3人選んでください。その人たちの名前をグループ内で共有し、彼ら一人ひとりのために祈りましょう。次回、上手く福音を分かち合う事ができたかどうか報告し合います！


クリスチャンの人生はレースのようなものですから、そこに葛藤はつきものです。罪や、罪の影響がある限り、クリスチャンの歩みは容易ではありませんが、イエスはいつも私たちと共にいる、と約束してくださっています。ネクスト・ステップで学ぶ聖書の教えは、あなたがイエスに従い、人間をとる漁師になるための道しるべとなってくれるでしょう。そして、このクリスチャンのスモールグループの存在は、信仰の旅を進めるうえで必ず大きな励ましとなるでしょう。

 Practice sharing your testimony with someone in your group.

3. Share the Gospel

After you've shared your story you need to share Jesus' story. One of the ways you can share the gospel is by inviting someone to study First Steps with you. First Steps is a 5-part Bible study that can be facilitated by anyone, anywhere.

Just like following Jesus is meant to be done in community, so God's Mission is meant to be done in community. In each Next Steps lesson, we will set a goal to share the gospel with someone and pray for one another. Additionally, we will hold one another accountable and encourage one another along the way.

 Let's make a goal and pray with one another right now! Looking at your prayer list, choose 1 to 3 people with whom you want to share your testimony and the gospel, in the next two weeks. Share their names with your group and pray for one another and the people you just listed. Next time we will ask one another how it went!

The Christian life, like a race, is not without struggle. Sin and the effects of sin make the Christian walk a challenge, but Jesus is always with us, as he promised. The Biblical teaching summarized throughout Next Steps will help guide your steps as you follow Jesus and fish for men. This small group of Christians will also undoubtedly be a great encouragement throughout the journey.



ステップ2 愛

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分れています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前はキリストの弟子になることについて学びました。そのときに学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

クリスチャンの人生をひと言で表すとしたら、それは愛です。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛されました」（ヨハネの福音書3章16節）。旧約聖書では、神は何度も、ご自分が恵みに富んでいるお方だと宣言されました（出エジプト記3章6節）。そして新約聖書には、神は愛です、と書かれています（ヨハネの手紙第一4章8節）。



Step 2 Love

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word


Share

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you have tried to obey what you learned from God's Word last time when we talked about discipleship.

The simplest way to summarize the life of a Christian is this: love. Because God loved the world so much, he sent his Son to save it (John 3:16). In the Old Testament, God reveals himself again and again saying he is a God abounding in steadfast love (Exodus 34:6). And in the New Testament it says that God himself is love (1 John 4:8).

神がご自分の民に与えられた命令を、イエスは次のようにまとめられました。

マルコによる福音書 12章28～31節

 律法学者がひとり来て、その議論を聞いていたが、イエスがみごとに答えられたのを知って、イエスに尋ねた。「すべての命令の中で、どれが一番たいせつですか。」イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」


神を愛し、人を愛すること。この2つの命令はクリスチャンの人生そのものであり、その人生の全ての側面において土台となります。例えば、私たちは神を愛しているからこそ、神を礼拝し、聖書を読み、罪を悔い改め、献金を捧げるのです。私たちが神を愛し人を愛しているからこそ、人を赦し、励まし、助け、そして福音を分かち合うのです。私たちはクリスチャンとして、この2つの目標を掲げて生きようとしています。この2つの命令は、神の使命を行うこと、そして神のことばに従うことの土台であり、ネクスト・ステップの各レッスンの骨組みとなっています。

神を愛する

私たちはどのように神を愛するべきでしょうか？イエスは先に読んだ聖書箇所で、このように答えられました。「心を尽くし、思いを尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして、主を愛せよ。」では、これらをひとつずつ見てみましょう。

This is how Jesus summarized all the commandments God gave to his people:

Mark 12:28-31

 *And one of the scribes came up and heard them disputing with one another, and seeing that he answered them well, asked him, "Which commandment is the most important of all?" Jesus answered, "The most important is, 'Hear, O Israel: The Lord our God, the Lord is one. And you shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind and with all your strength.' The second is this: 'You shall love your neighbor as yourself.' There is no other commandment greater than these."*

Love God; love people. These two commands summarize the Christian life and are the foundation for every other aspect of the Christian life. For example, we worship God, read the Bible, repent of sin, and give offering out of our love for God. We forgive, encourage, help, and share the gospel with others because we love God and others. As Christians, we try to live everyday with these two goals in mind. These two commands are the foundation of doing God's Mission and obeying God's Word, and they shape the structure of each lesson in Next Steps.

LOVE GOD

How should we love God? Jesus gave us the answer in the passage above: with all our heart, soul, mind, and strength. Let's look at each of these.

心を尽くして

心を尽くして神を愛するとは、神の他に何も望まないこと（詩篇73篇25節）、そして神を第一に求めることです（マタイの福音書6章33節）。神をあなたの心の最も尊い宝とし（マタイの福音書6章20～21節、13章44節）、神との関係を、あなたの人生の中で最も親密で大切な関係としましょう。実践的な方法としては、祈り、聖書を読み、神を讃える時間を日々の生活に取り入れ、神との充実した時間を持つようにすることです（ネクスト・ステップ2、3、4を参照）。人と充実した時間を多く持てば、より親密な関係が育まれるように、神との充実した時間は神への愛を強め、その愛を表現することに繋がります。

思いを尽くして

あなたの願いと計画を神に委ね、あなたのすべてをもって神を愛しましょう（マタイの福音書26章39節）。あなたの人生を神に明け渡し、日々神のために生き、神のために存在していることを認識しましょう（ルカの福音書9章23節、ガラテヤ人への手紙2章20節、コリント人への手紙第一8章6節）。

知恵を尽くして

神は私たち一人ひとりに知性と知能を与えられました。この知能を、神と神のことば、そして神のみこころを知るためにも用いるべきです。聖書を勉強し、学び、聖書箇所を暗記しましょう。そして一日中、神のことを考えましょう。満員電車に乗っている時には、そこに居る人々を見て彼らが神の似姿に造られていることを思い、公園を散歩する時には、そこに満ち溢れる神の創造物を見て街や文化の中にも神の真理が隠れている、と考えるのです。物を創り出すこと、書くこと、生産すること、デザインすること、話すこと、考えること、私たちの知能を用いて、様々な形で神を愛し、神を指し示すことができます。

力を尽くして

私たちは、力、エネルギー、時間、そして能力を用いて神に仕えることができます。具体的には、神から与えられた使命に従うこと（この学びの後半と、ネクスト・ステップ5参照）、神のために奉仕をすること（ネクスト・ステップ9参照）、そして職場や学校、家庭で神のために働くこと（ネクスト・ステップ10参照）を通して神に仕えます。「私たちが神を愛するなら、神の命令に従う」とイエスは教えられました。

With Our Heart

Love God with your heart by desiring him more than anything else (Psalm 73:25) and seeking him first (Matthew 6:33). Make God the greatest treasure in your heart (Matthew 6:20-21 & Matthew 13:44). Make your relationship with him the most intimate and most important relationship in your life. A practical way we can do this is to spend quality time with God by regularly praying, reading the Bible, and worshipping God (see Next Steps 2, 3, & 4). Like a lot of quality time with a person will foster a deep and intimate relationship, so quality time spent with God will both increase and express our love for him.

With Our Soul

Love God with all your whole being by abdicating your will and plans to God (Matthew 26:39). Surrender your life to God and live and exist for him daily (Luke 9:23, Galatians 2:20, 1 Corinthians 8:6).


With Our Mind

God made each of us with a mind and intellect. You should use the intellect God has given you to know Him, his Word, and his will. Study, learn, and memorize the Bible. Think about God throughout the day—as you ride a train packed full of people made in his image, as you walk through a park full of God’s creation, and as you reflect on the city and culture around you in regard to God’s Truth. Creating, writing, producing, designing, speaking, thinking—all facets of our mind are transformed and can be used to love God and point others to him.


With Our Strength

We can use our strength, energy, time, and abilities to serve God. We do this by joining God’s mission (see below and Next Steps 5); serving God (see Next Steps 9); and working for God in our jobs, schools, and homes (see Step 10). Jesus taught us that if we love him we will obey what he commands.

ヨハネによる福音書14章15節

 もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

クリスチャンは、自分が持っているすべてのものを尽くして、神と人を愛するよう努めるべきです。

 考えましょう：神を愛する上で、あなたにとって最も自然なのは心を尽くすことでしょうか？または思い、知恵、力を尽くすことでしょうか？どれが一番苦手、もしくは忘れてしまいがちでしょうか？

聖書は、神が愛の源であり、愛する根拠であると教えています。もし私たちが誰かを愛しても、その人や自分自身のためにそうするなら、いずれその愛は尽きてしまうでしょう。しかし、神が私たちを愛してくださっているのです、私たちが神、そして人を愛するとき、その愛は神から与えられるため尽きることがありません。クリスチャンが愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです。私たちが誰かを愛するとき、その愛はその人の行動や価値が前提となっているのではなく、無条件の愛です。それは、神が私たちを完全な愛で無条件に愛してくださっているからです。

人を愛する


イエスは、「私たちの隣人を私たち自身のように愛しなさい」と言われました（マルコの福音書12章31節）

私たちは誰を愛するべきでしょうか？


私たちの隣人

イエスがマルコの福音書12章で言われたように、私たちは隣人を愛するべきです。「では、隣人とは誰のことですか？」とあなたは聞くかもしれません。まさにその質問を、イエスに投げかけた人がいました（後でルカの福音書10章29～37節を読んでみましょう）。イエスの答えを見ると、私たちが愛すべき「隣人」とは、必ずしも文字通り隣に住んでいる人や自分と似ている人という意味ではないということがわかります。

John 14:15

 “If you love me, you will keep my commandments.”

Christians should strive to love with everything we have, from the inside out.

 Consider: Is it most natural for you to love God with your heart and soul, your mind, or your strength? Which are you most likely to avoid or forget?

The Bible teaches us that God is the ultimate source and reason for love. If we tried to love others for others' sake or for our own, we would eventually run out of love to give. Instead, our love for others flows out of our love for God, which comes from his love for us. As Christians, we love because he first loved us. When we love others, our love for others is not conditionally based upon their actions or worth, but is unconditional like God's perfect love for us.

LOVE PEOPLE

Jesus told us to love our neighbors as ourselves (Mark 12:31).

Whom should we love?

1. Our Neighbors


As Jesus said in Mark 12, we should love our neighbors. You might ask, “Who is my neighbor?” That is exactly what someone once asked Jesus (read the story later: Luke 10:29-37). Jesus' answer to this question shows that the word “neighbor” does not restrict whom we are to love to those literally next door to us or those similar to us. Rather we must become a neighbor by loving them.

むしろ、私たちは人を愛することによってその人の「隣人」となるべきなのです。つまり、「すべての人を愛しなさい」という意味です。イエスはまた、「弟子であるなら、あなたの敵でさえも愛しなさい」とも命じられました（ルカの福音書6章27～36節）。私たちが敵に対して示す自己犠牲の愛は、神が同じようにイエス・キリストを通して私たちに示してくださった愛を映し出しているのです（ローマ人への手紙5章6～10節）。

互いに愛し合う

聖書は私たちに、クリスチャンを愛するため特に思いやりを持つように、と教えています。イエスはこう言われました。


ヨハネによる福音書13章34節

 「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

ここで「互いに」とは、クリスチャン同士のことを指しています。知らない人を愛しなさいというのは、ある人には違和感を与えるかもしれませんが、その人の家族を愛しなさいというのは自然なことでしょう。教会もひとつの家族です。クリスチャンの間には、家族のような特別な愛があるべきです。

しかし現実的には、誰の内にも罪があります。誰かとしばらく一緒にいれば、相手の言葉や行動によって嫌な気分になったり、傷ついたりすることがあるでしょう。ほとんどの場合、人間関係に問題が起きると人は仲が悪くなり、お互いに離れていくでしょう。しかし、クリスチャンの関係は根本的に違います。パウロはローマの教会にいる兄弟姉妹を励まし、間違ったことをしたとしても、互いに愛し合いなさいと言いました。

ローマ人への手紙12章9～21節


 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善に親しみなさい。兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。

We should love everyone. Jesus also commands us, as his disciples, to love even our enemies (Luke 6:27-36)! Sacrificial love towards our enemies mirrors the same love that God has shown us through Jesus Christ (Romans 5:6-10).

2. One Another

The Bible teaches us to take special concern to love Christians. Jesus said:


John 13:34

 *"A new commandment I give to you, that you love one another: just as I have loved you, you also are to love one another."*

"One another" refers to fellow Christians. It would be odd for someone to love strangers but not love members of his or her own family. The church is a family, and there should be a special family-love among Christians.

The reality is that no one is without sin. Spend enough time with anyone and they will do or say something that can cause tension and may even be hurtful. When a relationship has problems, those outside the church typically part ways. However, the Christian community is radically different. Paul encouraged the church in Rome to love one another in this way, even when they wronged one another:

Romans 12:9-21

 *Let love be genuine. Abhor what is evil; hold fast to what is good. Love one another with brotherly affection. Outdo one another in showing honor. Do not be slothful in zeal, be fervent in spirit, serve the Lord. Rejoice in hope, be patient in tribulation, be constant in prayer. Contribute to the needs of the saints and seek to show hospitality. Bless those who*

聖徒の入用に協力し、旅人をもてなさない。あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福すべきであって、のろってはいけません。喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。互いに一つ心になり、高ぶった思いを持たず、かえって身分の低い者に順応しなさい。自分こそ知者だなどと思っていけません。だれに対してでも、悪に悪を報いることをせず、すべての人が良いと思うことを図りなさい。あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。渴いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

🗨️ 考えましょう：ローマ人への手紙12章9～21節を読んで、どの箇所が特に印象に残りましたか？

どのように愛するべきでしょうか？

1. あなたの隣人をあなた自身のように愛する

「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」というイエスの言葉は、何を意味していたのでしょうか？イエスは分かりやすく説明しておられます。

マタイによる福音書7章12節

📖 「それで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。」

人を自分自身のように愛するためには、思いやりと献身的な心遣いが必要です。

🗨️ 考えましょう：2、3日の間に会う予定のある人の中から誰かを選びましょう。あなたがその人だとしたら、周りの人に何をしてもらいたいと願うでしょうか？あなたはその願い通りに、その人を愛せますか？

persecute you; bless and do not curse them. Rejoice with those who rejoice, weep with those who weep. Live in harmony with one another. Do not be haughty, but associate with the lowly. Never be wise in your own sight. Repay no one evil for evil, but give thought to do what is honorable in the sight of all. If possible, so far as it depends on you, live peaceably with all. Beloved, never avenge yourselves, but leave it to the wrath of God, for it is written, "Vengeance is mine, I will repay, says the Lord." To the contrary, "if your enemy is hungry, feed him; if he is thirsty, give him something to drink; for by so doing you will heap burning coals on his head." Do not be overcome by evil, but overcome evil with good.

🗨️ Consider: What phrase in Romans 12:9-21 stuck out to you the most?

How should we love?

1. Love your neighbor as yourself

What did Jesus mean by "love your neighbor as yourself"? He explained it very simply:

Matthew 7:12


📖 "So whatever you wish that others would do to you, do also to them, for this is the Law and the Prophets."

Loving others as yourself requires thoughtfulness and selfless consideration.


🗨️ Consider: Choose someone that you will see in the next few days. If you were them, what would you wish others would do for you? Will you love them in this way?

2. イエスが愛されたように

ヨハネによる福音書 15章9節、12～13節


 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。... わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

父なる神、そしてイエスが私たちに示された愛は、最も素晴らしい手本です。神がひとり子イエスをどれほど愛しておられるか考えてみましょう。そして、イエスは私たちがどれだけ愛されたでしょうか—イエスは私たちのために死なれたのです。それほどの愛をもって、私たちは人を愛するべきなのです！それは無理だ、と思うのでしょうか。確かに私たちの力では到底できません。しかし、聖霊が私たちに力を与え、イエスのように愛することができるようにしてください。今週、文字通り誰かのために命を投げ出す必要はないかもしれませんが、相手が求めることを優先するために自分自身の欲求に死ぬ、という機会は沢山あるのではないのでしょうか。

 考えましょう：来週会う機会のある人の中から誰かを選びましょう。その人を自分より優先し、愛するには、どのようなことができますか？


3. 行いをもって愛する

ヨハネの手紙第一 3章16～18節


 キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。世の富を持ちながら、兄弟が困っているのを見ても、あわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行ないと真実をもって愛そうではありませんか。

2. Love as Jesus loved

John 15:9, 12-13


 *“As the Father has loved me, so have I loved you. Abide in my love. ... This is my commandment, that you love one another as I have loved you. Greater love has no one than this, that someone lay down his life for his friends.”*

There are no greater examples of love than the love God and Jesus have given us. Think about how much God loves his Son, Jesus. Think about how much Jesus loved us—he died for us. That is the same amount of love we must have for others! Does this seem impossible? It is impossible—by our own power. However, the Holy Spirit empowers us to love as Jesus did. Though we may not need to physically lay down our life for someone in the coming week, we will have many opportunities to die to our preferences and desires in order to put others above ourselves.

 *Consider: Choose someone else that you will see in the next week. How can you love them by putting them above yourself?*

3. Love with actions

1 John 3:16-18


 *By this we know love, that he laid down his life for us, and we ought to lay down our lives for the brothers. But if anyone has the world's goods and sees his brother in need, yet closes his heart against him, how does God's love abide in him? Little children, let us not love in word or talk but in deed and in truth.*

イエスは私たちのために命を捧げる、と言っただけではありません。行いをもって私たちを愛してくださったのです。愛は、感情やその時々のお気持ちに左右されるものではありません。愛は行いを伴います。

神を愛する、人を愛する：まとめ


私たちの神と人に対する愛は完全ではありませんが、神の愛はいつも完全です。神は私たちが愛に欠けていたとしても、私たちを無条件に受け入れ、キリストにあって赦してください。イエスは、神と人を完全に愛することのできた唯一の人間です。信仰によって、イエスの完全なる従順は私たちにも与えられています。さらに、聖霊がイエスを信じる者を力づけ、神と人により愛することができるようにしてください。あなたが愛することに失敗したときは、神と人の前に罪を告白し、悔い改め、神の完全な愛に信頼し、神があなたを成長させてくださると確信しましょう。

一歩踏み出しましょう！

 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。

神の使命

使徒の働き 26章 16～18節


 「『起き上がって、自分の足で立ちなさい。わたしがあなたに現われたのは、あなたが見たこと、また、これから後わたしがあなたに現われて示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人に任命するためである。わたしは、この民と異邦人の中からあなたを救い出し、彼らのところに遣わす。それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中にあって御国を受け継がせるためである。』」（パウロがイエスから任命された働きについて話している場面。）

Jesus did not merely talk about dying for us, he loved us with actions. Love is not based on an emotion or feeling; love involves actions.

Love God, Love People: Summary


Our love for God and others is imperfect, but God's love is always perfect. God unconditionally accepts us and forgives us in Christ, even when we fail to love. Jesus is the only man to have ever perfectly loved God and people. By faith, Jesus' perfect record of obedience is given to us. Furthermore, the Holy Spirit empowers believers to grow in their love for God and others. When you fail to love, confess your sins to God and one another, repent, trust in his perfect love, and trust him to help you grow.

Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned in this lesson. Share with one another about these things.

God's Mission

Acts 26:16-18

 “‘But rise and stand upon your feet, for I have appeared to you for this purpose, to appoint you as a servant and witness to the things in which you have seen me and to those in which I will appear to you, 17 delivering you from your people and from the Gentiles—to whom I am sending you 18 to open their eyes, so that they may turn from darkness to light and from the power of Satan to God, that they may receive forgiveness of sins and a place among those who are sanctified by faith in me.’” (Paul recounting the commission Jesus gave him.)

私たちが神の愛の福音を分かち合う動機は何でしょうか？ それは、神と人に対する愛です。


神を愛する


私たちはそもそも、神を愛しているからこそ福音を分かち合います。神を愛しているなら、神の命令に従うからです（ヨハネの福音書 14 章 15 節）。私たちは、イエスの愛をまだ知らない人に福音を分かち合うよう命じられています。ですから、その命令に従うことで神を愛するのです。では、このように考えてみましょう。あなたは何か自分の大好きなものがあれば、そのことを人に話したり、その良さを伝えたりしませんか？例えば大好きな歌、あるいは新しいレストランかもしれません。それと同じように、私たちの神への愛は心の内から溢れ出てくるはずなのです。そして、他のどんなものよりも価値のある神の素晴らしい恵みについて、誰かに伝えずにはいられないはずです。

人を愛する

また、私たちが福音を伝えるのは、人を愛しているからでもあります。イエスは、自分にしてもらいたいことを人にしなさい、と教えられました。私たちがクリスチャンになる前は、自分たちが神から離れて存在していること、また最後の裁きがあることや、イエスが無償で用意してくださっている救いという贈り物があることも知りませんでした。誰かが私たちに教えてくれたのです。同じように、その愛をもって、私たちも良い知らせを人に伝えるべきです。私たちは、すべての人が永遠のいのちと神との幸せを楽しむことを願っています。私たちが人に対してできる最善の愛の行いは、イエス・キリストにある神の愛を伝えて、彼らが抱えている最も大きな必要を満たすことです。つまりそれは、神との和解です。

互いに励まし合いましょう：

 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

What is our motivation for sharing the gospel of God's love? Love for God and others.


Love God


We share the the gospel primarily because we love God. If we love God we obey him (John 14:15). We have been commanded to share the gospel with those who do not know Jesus' love yet, and so we love God by obeying this command. Consider it this way—when we love something we talk about it and even commend its value to others. Maybe it's a good song, or a new restaurant. In this way, our love for God should overflow from our hearts leading us to tell others the gospel of God's glorious grace, which has far more value than anything else we might share with someone!

Love People


We share the gospel secondarily because we love people. Jesus taught us to do for others as we wish they would do for us. Before we were Christians, we were unaware of our separation from God, and we did not know about the coming judgment or about the free gift of salvation available in Jesus. Someone told us. Out of love, we tell others the same good news. We want everyone to be reconciled to God. We want everyone to enjoy eternal life and happiness with God. The greatest act of love we can show toward any human is to share the love of God in Jesus Christ to meet their deepest need: reconciliation with God.

Encourage One Another:

 What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?


 How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?

互いのために祈りましょう：

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合しましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合しましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントするなど）。


互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？


神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Pray for One Another:

 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

3

ステップ3 祈り

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分れています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗣️ 前は神と人を愛することについて学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

では、今回は祈りについて学びましょう。私たちはどのように（いつ、どこで、なぜ）祈るべきでしょうか。互いのために祈り合う練習もしてみましょう。

3

Step 3 Prayer

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗣️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you have tried to obey what you learned from God's Word last time when we talked about loving God and others.

Let's talk about what prayer is, how we should pray (when, where, why), and even practice praying with one another.

祈りとは？

祈りは、神とのコミュニケーションです。私たちが心の内を神に伝え、神の助けを求めることができるように、神が与えてくださったものです。神は私たちの祈りを聞いてくださいます！

どのように祈るべきでしょうか？

イエスはクリスチャンが従うべき、また避けるべき祈り方を教えてくださいました。マタイの福音書6章5～13節を読みましょう。

マタイの福音書6章5～8節

「また、祈るときには、偽善者たちのようであってははいけません。彼らは、人に見られたくて会堂や通りの四つ角に立って祈るのが好きからです。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。あなたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。また、祈るとき、異邦人のように同じことばを、ただくり返してはいけません。彼らはことば数が多いれば聞かれると思っているのです。だから、彼らのまねをしてはいけません。あなたがたの父なる神は、あなたがたが願うする先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。」

どこで祈るべきでしょうか？

神はどこにでも同時に存在することが出来るので、私たちはどこでも祈ることができます。例えば、道を歩きながら、部屋の中で、または公園で祈っても構いません。祈る時の姿勢も自由です。立ったまま、座って、またはひざまずいて祈ることもできます。マタイの福音書6章5～8節でイエスが強調しているのは、私たちが偽善者たちのように祈るべきではない、ということです。人からの評価のために祈ってはいけません。私たちは神に祈るのです。

神が私たちの祈りに応えてくださるために、神に何か捧げるべきでしょうか

そんなことはありません！先程のみことばにあるように、神は私たちが願う前から必要なものを知っておられます。神の子イエスを通して祈るなら、神はいつでも聞いてくださいます。

What is prayer?

Prayer is communication with God. It is a gift God has given to us to be able to tell him what is on our hearts and ask him for help. God listens to our prayers!

How should I pray?

Jesus taught us how Christians should and should not pray in Matthew 6:5-13.

Matthew 6:5-8

“And when you pray, you must not be like the hypocrites. For they love to stand and pray in the synagogues and at the street corners, that they may be seen by others. Truly, I say to you, they have received their reward. But when you pray, go into your room and shut the door and pray to your Father who is in secret. And your Father who sees in secret will reward you. “And when you pray, do not heap up empty phrases as the Gentiles do, for they think that they will be heard for their many words. Do not be like them, for your Father knows what you need before you ask him.”

Where can we pray?

Because God exists in all places at once, we can pray to him anywhere! We can pray, for example, while walking down the street, in our room, or in a park. Our posture in prayer is not mandated, so we can also pray sitting, standing, or kneeling, for example. The emphasis of Jesus’ teaching on prayer in Matthew 6:5-8 is that when we pray, we should not pray like the “hypocrites” prayed, trying to impress others. We should pray to God.

Do we have to give anything to God before He will listen to us?

No! Like Jesus said above, God knows what we need before we ask. He always listens to us because we pray to him through his Son Jesus.

💬 考えてみましょう：イエスが教えておられる祈り方は、お寺や神社での祈り方とどのように違いますか？

イエスは、次のように祈りの手本を示してくださいました。

マタイによる福音書6章9～13節

✚ 「だから、こう祈りなさい。
『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。
御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われま
すように。
私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお
赦してください。
私たちも、 私たちに負いめのある人たちを赦しました。
私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』」

この手本を、私たちの祈りの概要として用いても良いでしょう。一行ごとに、それぞれのテーマを詳しく見てみましょう。

1. 天にいます私たちの父よ：まず、祈りの初めに神がどのようなお方を覚えましょう。イエス・キリストを通して、あなたを子としてくださった父なる神です。クリスチャンがよく祈りの初めや終わりに、「イエスの名によって」と言うのを聞いたことがあるかもしれません。これは、イエスがこのように祈りなさいと教えられたためです（ヨハネの福音書14章13節）。宇宙を創造され支えておられる神に、私たちが子として愛され近づくことができるのは、イエスを通して初めて可能になることなのです。私たちが神の子であるというアイデンティティーは、その祈り全体に影響をもたらします。

2. 御名があがめられますように：これは神が唯一無二の真の神であり、間違った宗教の神々や私たちの心にある偶像を含め、すべてに勝るお方として、崇められ、尊ばれ、聖別されるようにと願う言葉です。こうして私たちは、私たち自身、また世界において、神だけがほめ讃えられ、私たちの心と人生の最も高き所に座してくださるように、と祈ります。そうすることで、私たちは祈りを通して私たちの心が神を第一とし、神を讃え、礼拝することを

💬 *Consider: How does Jesus' teaching on prayer differ from the praying that happens in temples or shrines?*

The model for prayer given by Jesus is:

Matthew 6:9-13

✚ "Pray then like this:
'Our Father in heaven, hallowed be your name.
Your kingdom come, your will be done, on earth as it is in heaven.
Give us this day our daily bread,
and forgive us our debts, as we also have forgiven our debtors.
And lead us not into temptation, but deliver us from evil.'"

We can use this model prayer as an outline for our prayers. Let's explore the themes in each line of this prayer.

1. Our Father in heaven - Start your prayer by remembering who God is—your Father who adopted you as his own child through Jesus Christ. Often you will hear Christian end or begin their prayer "in Jesus' name," following Jesus' instructions (John 14:13). We are able to approach God, the creator and sustainer of the universe, as his own beloved children because of and through Jesus. Our identity as God's children will pervade the rest of our prayers.

2. Hallowed be your name - This is a request that God would be revered, honored, and set apart as the only true God over and above all other so called gods, both false religious idols and idols of our hearts. We are asking that both in our hearts and throughout the world God alone will be exalted to the highest place in our hearts and lives. This reminds us to make God first in our own hearts, praise him, and worship him in our prayers. In your prayers, worship God, tell him

思い起こすことができます。あなたも祈りの中で神を礼拝し、神がどれほど素晴らしいお方であるか伝え、またあなたの人生において、歴史において、神がしてくださったことを賛美しましょう。神がさらに多くの人から崇められますように、と祈りましょう。

3. 御国が来ますように、みこころが行われますように：神は王です。神の国において、また神のみこころにおいて、すべての人は神を礼拝し、神に従い、神を尊びます。神の国には、罪も死も、病気も戦争も、飢えもテロの脅威も、鬱（うつ）も憎しみも、他のどのような罪も、罪の結果も、存在しません。そして、さらに多くの人が、王である神に従うように祈りましょう。神の良い、義なる願いが、あなたの人生において、また世界において実現するように祈りましょう。

4. 私たちの日ごとの糧をお与えください：日ごとの糧とは、私たちの身体的な必要と、霊的な必要を表しています。祈りを通して、私たちは必要なものを神に願う機会が与えられています（神とのさらに深い交わり、神へのより深い愛、食べ物、家、お金、知恵、導きなど）。また、日々の生活の中で神がいつも必要なものを備えてくださることに感謝しましょう。

5. 私たちの負いめをお赦しください：あなたの罪を神に告白し、イエス・キリストによる赦しを求めましょう。また、神の臨在の内に、あなたに対して罪を犯した人を赦しましょう。

6. 私たちを悪からお救いください：あなたの弱い部分を認識し、誘惑から守られ、神のために生きることができるように祈りましょう。

上記の祈りをあなたの言葉で書き出してみましょう。そしてグループで分かち合いましょう。

いつ祈るべきでしょうか？

聖書は、私たちに絶えず祈りなさい、と教えています！（テサロニケ人への手紙第一5章17節）1日の中で、祈りに集中する時間を取ることは大切です。1番簡単なのは、聖書を読む時間と一緒に、祈りの時間も作ることです（ネクスト・ステップ4参照）。祈りには、予定を立てて行う祈りと、予定せず、会話のように自然と行う祈りがあります。

how good and great he is, and praise him for what he has done in your life and in history. Pray that he would be worshiped by more people.

3. Your kingdom come, your will be done - God is King. Both in his kingdom and within his will everyone worships him, obeys him, and honors him. In his kingdom there is no sin, death, sickness, war, famine, terrorism, depression, hatred, nor any other sins and results of sins. Pray that more people would obey God as King. Pray that God's good and righteous desires will become reality in your life and in the world.

4. Give us our daily bread - Daily bread represents our physical and spiritual needs. Prayer is an opportunity to ask God for what we need (more of him, a deeper love for him, food, shelter, money, wisdom, guidance, etc.). Also thank him for all his faithful provision in your life!

5. Forgive us - Confess your sins to God and ask for forgiveness through Jesus Christ. Also forgive, in God's presence, those who have sinned against you.

6. Deliver us from evil - Acknowledge your weakness and ask God to help you resist temptation and live for him.

Try writing out the above prayer in your own words and sharing it with your group.

When should I pray?

The Bible instructs us to pray without ceasing (1 Thessalonians 5:17)! And we should certainly have a time each day that we set aside for focused prayer. Usually it is helpful to make time for prayer when we make time for reading the Bible (see Next Steps 4). Prayer is both planned and spontaneous.

一步踏み出しましょう！

🗨️ 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。今週、あなたはどのように祈りのスケジュールを立てますか？お互いにそのことを分かち合いましょう。

神の使命

神を知らない友人や家族のために、どのように祈ることができるでしょうか？クリスチャンの兄弟姉妹のために祈れることはありますか？私たち自身のためにも祈るべきですか？私たちは、神に何でも自由に願うことができます。祈りは、何か特別な言葉や言い回しによって力が増す訳ではありません。聖書は、神を知らない人、クリスチャン、そして私たち自身のために祈る実践的な方法について、それぞれ素晴らしい手本を与えています。次のことばを用いて、何を祈ればいいのか学んでみましょう。

まだクリスチャンでない人のための祈り：

「私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らが救われることです。」（ローマ人への手紙 10章1節）

父よ、彼らに新しい心を与え、新しい霊を授けてください。彼らの石の心を取り除き、肉の心を与えてください。あなたの霊を彼らに授け、あなたのおきてに従って歩ませ、あなたの定めを守り行うようにしてください。（エゼキエル書 36章26～27節より）

主よ、彼らの心を開いて、あなたのことばに心を留めるようにしてください。（使徒の働き 16章14節より）

エゼキエル書 11章19～20節、申命記 30章6節、テモテの手紙第二 2章25～26節も参照。

Take the Step!

🗨️ Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. What time will you set aside for prayer each day this week? Share with one another about these things.

God's Mission

How can we pray for our lost friends and family? What should we ask for our Christian brothers and sisters? Should we pray for ourselves? We can freely ask God anything. Special words or phrases do not strengthen our prayers. But on a practical level, the Bible gives us wonderful examples of prayers for the lost, Christians, and ourselves. Use the following verses to help you know what to pray for.

Prayers for non-Christians:

"... my heart's desire and prayer to God for them is that they may be saved." (Romans 10:1)

Father, please give them a new heart, and a new spirit. Please, remove their heart of stone and give them a heart of flesh. Put your Spirit within them, and cause them to walk in your statutes and be careful to obey your rules." (Adapted from Ezekiel 36:26-27)

Lord, open their hearts to pay attention to your Word. (Adapted from Acts 16:14)

See also: Ezekiel 11:19-20; Deuteronomy 30:6, and 2 Timothy 2:25-26.

クリスチャンのための祈り：

「あなたがたが完全な人となり、また神のすべてのみこころを十分に確信して立つことができるよう、あなたがたのために祈りに励んでいます。」（コロサイ人への手紙4章12節）

どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、彼らの内なる人を強くしてくださいように。こうしてキリストが、彼らの信仰によって、彼らの心のうちに住んでいてくださいように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いている彼らが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまでに、彼らが満たされますように。（エペソ人への手紙3章16～19節より）

どうか、彼らがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。また、主になつた歩みをして、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知識を増し加えられますように。また、神の栄光ある権能に従い、あらゆる力を持って強くされて、忍耐と寛容を尽くし、また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をさげることができますように。（コロサイ人への手紙1章9～12節より）

エペソ人への手紙1章17～19節、ピリピ人への手紙1章9～11節、テサロニケ人への手紙第一3章12～13節、テサロニケ人への手紙第二2章16～17節、ヘブル人への手紙13章20～21節も参照。

あなた自身のための祈り：

「兄弟たち、私たちのためにも祈ってください。」（テサロニケ人への手紙第一5章25節）

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。また、私が口を開くとき、語るべきことが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう私のためにも祈ってください。私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。（エペソ人への手紙6章18～20節）

Prayers for Christians:

"... always struggling on your behalf in his prayers, that you may stand mature and fully assured in all the will of God." (Colossians 4:12)

Father, according to the riches of your glory, may you grant them to be strengthened with power through your Spirit in their inner being, so that Christ may dwell in their hearts through faith—that they, being rooted and grounded in love, may have strength to comprehend with all the saints what is the breadth and length and height and depth, and to know the love of Christ that surpasses knowledge, that they may be filled with all the fullness of God. (Adapted from Ephesians 3:16-19)

May they be filled with the knowledge of your will in all spiritual wisdom and understanding, so as to walk in a manner worthy of you, Lord, fully pleasing to you, bearing fruit in every good work and increasing in the knowledge of God. May they be strengthened with all power, according to your glorious might, for all endurance and patience with joy, giving thanks to you, our Father, who has qualified them to share in the inheritance of the saints in light. (Adapted from Colossians 1:9-12)

See also: Ephesians 1:17-19, Philippians 1:9-11, 1 Thessalonians 3:12-13, 1 Thessalonians 5:23-24, 2 Thessalonians 2:16-17, and Hebrews 13:20-21.

Prayers for yourself:

"Brothers, pray for us." (1 Thessalonians 5:25)

"... praying at all times in the Spirit, with all prayer and supplication. To that end keep alert with all perseverance, making supplication for all the saints, and also for me, that words may be given to me in opening my mouth boldly to proclaim the mystery of the gospel, for which I am an ambassador in chains, that I may declare it boldly, as I ought to speak." Ephesians 6:18-20

目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。（コロサイ人への手紙4章2～4節）

互いに励まし合いましょう：

🗨 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

🗨 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

"Continue steadfastly in prayer, being watchful in it with thanksgiving. At the same time, pray also for us, that God may open to us a door for the word, to declare the mystery of Christ, on account of which I am in prison—that I may make it clear, which is how I ought to speak." Colossians 4:2-4

Encourage One Another:

🗨 *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*

🗨 *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

🗨 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

🗨 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.



ステップ4 聖書

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分れています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗣️ 前は祈りについて学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

私たちは祈を通して神に語りかけます。そして神は、神のことばである聖書を通して私たちに語りかけてくださいます。聖書を読むと、神が何を語っておられるのかを知ることができます。



Step 4 Bible

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word


Share:

🗣️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you have tried to obey what you learned from God's word last time when we talked about prayer.

We speak to God through prayer. God speaks to us through his Word, the Bible. By reading the Bible we can know what God has spoken.

聖書とは何でしょうか？

テモテへの手紙第二3章16節


 聖書はすべて、神の靈感によるもので...

テモテへの手紙第二3章16節には、神のことばである「聖書」について書かれています。聖書は千年以上の年月に渡り多くの著者によって書かれた、66の書物や手紙で構成されています。聖書の著者たちはすべて聖霊によって示される神の啓示を受けて書いたため、その内容には誤りがありません。聖書は人間による作品ではなく、神の力によって書かれた書物です。そのため、聖書は完全に信頼でき、間違いがありません。

なぜ聖書を読むのでしょうか？

聖書は私たちの魂に栄養を与えます。


マタイの福音書4章4節

 イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」

神のことばを日々「食べ」、日々祈ることは、私たちの魂に水や食べ物を取り込むようなものです。これらは、クリスチャンの歩みに必要不可欠な栄養です。


また、私たちは神ご自身と神のみこころについて知るために、聖書を読みます。神は聖書のことばを用いて、私たちの信仰と行いを励まし、クリスチャンとして成長させてくださいます。

テモテへの手紙第二3章16～17節

 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

What is the Bible?

2 Timothy 3:16


 *All Scripture is breathed out by God...*

“Scripture” in 2 Timothy 3:16 refers to the Bible, which is God’s Word. The Bible is composed of 66 books and letters, written over a span of more than 1000 years, by many different human authors. These authors were inspired by God through the Holy Spirit so that the writings were without error. The Bible is a divinely inspired book and not the invention of humans. The Bible is wholly trustworthy and accurate.

Why read the Bible?

The Bible is nourishment for our souls.


Matthew 4:4

 *But [Jesus] answered, “It is written, “‘Man shall not live by bread alone, but by every word that comes from the mouth of God.’”*

A consistent intake of God’s Word and praying is like food and water to our souls and vital nourishment for the Christian walk.

We also read the Bible in order to know God and his will for us! God uses the Bible to help us grow as Christians in our beliefs and our actions.

2 Timothy 3:16-17

 *All Scripture is breathed out by God and profitable for teaching, for reproof, for correction, and for training in righteousness, that the man of God may be complete, equipped for every good work.*


聖書を読むとき、以下の質問について考えてみましょう。

教え：聖書は、私たちに神の真実と神の命令を教え、正しい考えへと導きます。あなたはその聖書箇所から、神について、世界について、そしてあなた自身について、何か新しい真実を教えられましたか？


戒め：聖書は私たちの誤った考えを指摘します。その聖書箇所から、あなたが現在信じていることや、あなたの考え方、世界観について、戒められる点がありますか？

矯正：聖書は私たちの誤った行動を正します。その聖書箇所を読んで、あなたの生活の中でみられる罪を矯正させるものはありますか？

義の訓練：聖書は私たちが正しい行いをし、神を敬うよう訓練します。その聖書箇所はあなたにどのような義の行いを促し、あなたを訓練しますか？

 考えましょう：聖書のある箇所から教え、戒め、矯正、義の訓練を受けた経験を分かち合いましょう。

ヘブル人への手紙4章12～13節

 神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髓の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。

聖書は、2千年も前に書かれた書物であるにも関わらず、今も生きて力のある神のことばです。聖書を通して、神は今日も私たちに語りかけておられます！

聖書はどのように読むべきでしょうか？

聖書を読むとき、私たちは聖書の教えに対して喜びをもって従い、積極的に応える姿勢を持つべきです。


When you read the Bible ask the following questions:

Teaching: The Bible, by teaching us God's truth and commands, tells us the right way to think. What new truth does this Bible passage teach me about God, the world, and myself?


Reproof: The Bible warns us of wrong ways to think. How does this passage reprove my current beliefs, ideas, or worldview?

Correction: The Bible corrects our wrong behavior. What sinful action in my life does this passage correct?

Training: The Bible trains us to do what is right and honoring to God. What righteous behavior does this passage train me to do?

 Consider: Share a story of when the Bible taught, reproved, corrected, or trained you in righteousness.

Hebrews 4:12-13

 For the word of God is living and active, sharper than any two-edged sword, piercing to the division of soul and of spirit, of joints and of marrow, and discerning the thoughts and intentions of the heart. And no creature is hidden from his sight, but all are naked and exposed to the eyes of him to whom we must give account.

Though the Bible was written over 2000 years ago, it is the living and active Word of God through which God speaks to us today!

How do we read the Bible?

We should read the Bible with a joyful submissiveness and an eagerness to respond to what we learn.

ヤコブの手紙 1 章 22 節



また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。

神が示してくださる真実を知り、神が戒めておられる罪に気付いたなら、私たちは行動をもって応える必要があります。神のことばを、ただ読み、学び、聞くだけに留まってははいけません。そのことばに従う必要があるのです。

聖書には何が書かれているのでしょうか？

聖書は神と人間の物語です。そこには、天地創造、世界への罪の介入、イスラエルを通して救い主を送られるという神の約束、イエス・キリストによる贖い、キリストの教会、そして終わりの日に与えられる新しい天地について書かれています。ファースト・ステップ、レッスン4の「聖書の話は何？」を参照してください。

聖書を読み始めるにはどうしたら良いのでしょうか？

聖書を読む時間と場所を決めましょう。そして、どのように読み進めるか、計画を立てましょう。

時間：1 日の中で、聖書を読むことに集中できる時間を決めましょう。早起きをして、祈りと神のみことばの内に時間を過ごすのは、素晴らしい1日のスタートとなります。

場所：毎日聖書に集中できる場所を選びましょう。例えば、寝る前にあなたの部屋で、子どもが起きる前に食卓で、または通勤中の電車の中で、などが良いでしょう。

読書計画：聖書全体を読むために、聖書各書を少しずつ読み進めるための計画を立てましょう。初めて聖書を読む場合は、まず新約聖書から読み始めると分かりやすいでしょう。

James 1:22



But be doers of the word, and not hearers only, deceiving yourselves.

After learning the truth God is showing us or realizing the sin he is rebuking, we need to respond with action. It is not enough to read, study, or hear God's Word; we need to obey!

What is in the Bible?

The Bible tells the story of God and mankind. It tells of Creation and when sin entered the world, God's promise to send a Savior through Israel, the redemption in Jesus Christ, his church, and final restoration. See First Steps Lesson 4: What is the Story of the Bible.

How do I start reading the Bible?

Practically, choose a time, a place, and a plan for reading the Bible.

Time: Choose a time to set apart each day for focused Bible reading. Waking up early to pray and spend time in God's Word is a great way to start your day.

Place: Choose a location you can focus on the Bible each day. For example, your room before you go to sleep, the dining table before the kids are awake, or the train on your way to work.

Plan: Choose a plan for reading through whole books of the Bible in pieces each day. If this is your first time reading the Bible, it may be beneficial to begin reading the New Testament first.

一步踏み出しましょう！

🗣️ 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。聖書を読む時間、場所、読書計画を決め、グループで分かち合しましょう。読書計画はすぐに実行に移しましょう。次回の学びで、またグループで分かち合います。

神の使命

イエスは以下の聖書箇所で、福音を分かち合うことと、それに対する人々の反応を「種を蒔く人と種」に例えておられます。

マタイによる福音書13章3～8節、18～23節

📖 イエスは多くのことを、彼らにたとえで話して聞かされた。「種を蒔く人が種蒔きに出かけた。蒔いているとき、道ばたに落ちた種があった。すると鳥が来て食べてしまった。また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。しかし、日が上がると、焼けて、根がないために枯れてしまった。また、別の種はいばらの中に落ちたが、いばらが伸びて、ふさいでしまった。別の種は良い地に落ちて、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ。... ですから、種蒔きのたとえを聞きなさい。御国のことばを聞いても悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪って行きます。道ばたに蒔かれるとは、このような人のことです。また岩地に蒔かれるとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。しかし、自分のうちに根がないため、しばらくの間そうするだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。また、いばらの中に蒔かれるとは、みことばを聞くが、この世の心づかいと富の惑わしとがみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。」

Take the Step!

🗣️ Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Choose your reading time, place, and plan and share it with your group. Start your plan immediately. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission

In the following scriptures, Jesus likens sharing the gospel and people's responses to the gospel to a sower and seeds:

Matthew 13:3-8, 18-23

📖 *And he told them many things in parables, saying: "A sower went out to sow. And as he sowed, some seeds fell along the path, and the birds came and devoured them. Other seeds fell on rocky ground, where they did not have much soil, and immediately they sprang up, since they had no depth of soil, but when the sun rose they were scorched. And since they had no root, they withered away. Other seeds fell among thorns, and the thorns grew up and choked them. Other seeds fell on good soil and produced grain, some a hundredfold, some sixty, some thirty. ... Hear then the parable of the sower: When anyone hears the word of the kingdom and does not understand it, the evil one comes and snatches away what has been sown in his heart. This is what was sown along the path. As for what was sown on rocky ground, this is the one who hears the word and immediately receives it with joy, yet he has no root in himself, but endures for a while, and when tribulation or persecution arises on account of the word, immediately he falls away. As for what was sown among thorns, this is the one who hears the word, but the cares of the world and the deceitfulness of riches choke the word, and it proves unfruitful. As for what was sown on good soil, this is the one who hears the word and understands it. He indeed bears fruit and yields, in one case a hundredfold, in another sixty, and in another thirty."*

このたとえ話から、弟子を作ることについて何を学べますか？


1. 種は神のことばです（ルカの福音書8章11節）。伝道の力は、メッセージを伝える人にあるのではなく、メッセージそのもの、つまり神のことばにあるのです。神のことばは福音のメッセージであり、聖書に書かれている真実です。私たちが伝えるべきことは、個人的な考えや人の知恵ではなく、神のことばです。

2. 種を蒔く人は、場所を特定せず、あらゆる場所に種を蒔きました。私たちは、面識の有無や外見、社会的地位や社会的距離を条件に、「良い地」に見える人を選び好みしてはいけません。むしろ、どのような人にも福音を伝えるべきです。

3. 福音に対しての反応は様々ですから、常に良い反応が返ってくるとは限りません。すべての人が福音を受け入れなかったとしても、落胆しないでください。私たちが重荷を持つべきなのは相手の反応ではなく、ただ福音を伝え続けることです。

4. 福音を聞いた人の中には、心に福音が根付き育つ人もいます。実を結ぶ良い地は必ずある、と知っていると、私たちがイエスに従って、あらゆる人に神の良い知らせを伝え続けるための力となります。多くの人に福音を伝えるほど、イエスを信じる決心をする人が増えるのです。

5. 実を結ぶ種、つまり「みことばを聞いてそれを悟る人」とは、クリスチャンになる人のことです。そのような種は何倍もの実を結びます。人によって実を結ぶ数もかかる時間も違いますが、何倍もの実を結ぶことには変わりありません。

 考えましょう：今まで、福音を伝えようとしたけれど「良い地」に見えなかったからやめてしまった、という経験はありますか？福音を伝えたら相手の反応が消極的で、落胆した経験はありますか？

すべての人に伝えましょう。伝え続けましょう。沢山伝えましょう。

What can we learn about making disciples from this parable?

1. The seed is the Word of God (Luke 8:11). The power of evangelism is not found in the messenger but in the message—the Word of God. The Word of God is the message of the gospel and the truth of the Bible. What we need to give others is not personal opinions or human wisdom, but rather the Word of God.

2. The sower sowed seeds everywhere, regardless of location. We should not pick who we think looks like “good soil” based on familiarity, appearance, social status, or social distance. Rather, we should share the gospel with everyone.

3. There are different types of responses to the gospel, and not all responses will be positive. Do not be surprised that not everyone accepts the gospel. We are not responsible for how people respond but only to keep sharing the gospel.

4. The gospel will take root and grow in some people's hearts. Knowing that some soil will bear fruit helps to compel us in being obedient to Jesus by continuing to share the good news of God with anyone that we can. The more people we share with, the more people will choose to put their faith in Jesus.

5. The seeds that bear fruit, “the one who hears the word and understands”, is someone who becomes a Christian. Such seeds that bear fruit multiply! Some multiply more than others and at different rates, but all multiply.



Consider: Have you ever chosen to not share with someone because they did not seem like “good soil”? Have you ever felt discouraged because of a negative response to the gospel?

Share with everyone. Keep sharing. Share a lot.

互いに励まし合いましょう：

🗨 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

🗨 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Encourage One Another:

🗨 *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*

🗨 *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

🗨 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

🗨 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

5

ステップ5 礼拝

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗣️ 前は聖書について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

私たちは礼拝を捧げるために造られました。神を礼拝できるよう、神は私たちを罪から救うために、イエスを送ってくださいました。礼拝は、私たちがクリスチャンとして、天国においても永遠に捧げ続けるものです。

5

Step 5 Worship


Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗣️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time when we talked about the Bible.

We were made to worship. God sent Jesus to rescue us from sin so that we would worship, and worship is something we, as Christians, will do for all of eternity in heaven.

 考えましょう：礼拝とは何でしょうか？

礼拝と聞くと、歌を歌うことがまず頭に浮かぶかもしれません。毎週私たちは「礼拝」のために集まり、賛美歌やワーシップソングを歌って聖書から学びます。多くの場合、礼拝は歌を通して表現されますが、それだけではありません。礼拝は、神の素晴らしさと恵みへの内なる応答であり、多くの場合、愛、賛美、おそれ、情熱、そして神を慕い求め、崇め、敬う心などで表現されます。このような礼拝の心による応答は、罪や自己中心的な思いに常に引き寄せられる私たちに、自然に生まれることはありません。しかし、聖霊が私たちの心を造り変えてくださることによって、私たちの心の目が開かれ、神の栄光を目の当たりにすることができるのです。神への応答は、私たちが日々の生活や、この世界、そして特に聖書の内に絶え間なく現される神の栄光によって湧き上がってくるものです。そして、この内なる応答は私たちの心から溢れ出し、神の栄光が外側に向けて表現される礼拝となります。これは歌で表現されることが多いですが、その他にも様々な行動を通して表現されます（従順な生活、悔い改め、涙、愛のある行動、神のことばに喜んで従うこと、献金など）。聖書は私たちがなぜ、どのように礼拝するのかについて示し、私たちの生活すべてが礼拝であることを教えています。


なぜ礼拝するのでしょうか？

1. クリスマンが神を礼拝するのは、礼拝こそ神がすべての被造物—そして特に人間—を造られた目的だったからです。罪の中にいて礼拝を捧げない私たちの以前の姿から救い出してくださったのも、私たちが神を礼拝し、神に栄光を帰するようになるためです。

コロサイ人への手紙1章16節



なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

 Consider: What is worship?

Perhaps you immediately think of worship as singing. Every week we gather for a “worship service” where we sing and are taught from the Bible. Worship is often expressed through singing, but it is much more. Worship is an internal response to God’s greatness and goodness, a response that often is love, praise, fear, adoration, passion, reverence, awe, etc. These worshipful responses do not come to us naturally because we are prone toward sin and self-centeredness. However, as the Holy Spirit transforms our hearts, he awakens our hearts to see and marvel at God’s glory. These responses are fueled by a continued vision of God’s glory seen in our lives, the world, and especially the Word. These internal responses overflow from our hearts and become outward expressions of worship to God’s glory, often including songs, but also so much more (obedient lives, repentance, tears, acts of love, joyful submission to the Word of God, giving offering, etc.). The Bible addresses why we worship and how we worship, and teaches that worship involves our whole lives.

Why We Worship

1. Christians worship God because worship is the purpose for which God created everything, especially humans, and is why God saved us from our former non-worshipping sinful selves—for his worship and glory.

Colossians 1:16



For by [Jesus] all things were created, in heaven and on earth, visible and invisible... all things were created through him and for him.

2. クリスマンが神を礼拝するのは、神こそ礼拝を受けるにふさわしい唯一のお方だからです。

黙示録4章11節、5章12節



「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」...彼らは大声で言った。
「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」

どのように礼拝するのでしょうか？

1. 「霊」と「まこと」によって

ヨハネによる福音書4章23～24節

イエスはこう言われました：「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

「霊によって」神を礼拝するとは、どういう意味でしょうか？それは、私たちは聖霊によって礼拝に招かれているという意味です。多くの場合は内なる変化が生まれ、それが外側への表現として現れます。イエスはまた、旧約聖書のことばも引用されています。「この民は、口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである...」（マタイの福音書15章8～9節）。

神は、特定の神殿や場所を指して、その場所だけが聖いと言われたり、その場所だけに住まわれたりすることはありません（使徒の働き7章48節、17章24～25節）。むしろ、神は永遠に存在し、一つの場所や時間に束縛されません。さらに、神の聖霊は信じる人の内に宿っておられるのです。神と親しい交わりを持つ唯一の方法は、キリストを信じ、神とひとつになることです。それは、お金を施したり、線香を供えたり、手や口を洗ったりして

2. Christians worship God because he alone is worthy to be worshiped.

Revelation 4:11 & 5:12



“Worthy are you, our Lord and God, to receive glory and honor and power, for you created all things, and by your will they existed and were created.” ... “Worthy is the Lamb who was slain, to receive power and wealth and wisdom and might and honor and glory and blessing!”

How We Worship

1. In Spirit and Truth

John 4:23-24

Jesus said: *“But the hour is coming, and is now here, when the true worshipers will worship the Father in spirit and truth, for the Father is seeking such people to worship him. God is spirit, and those who worship him must worship in spirit and truth.”*

What does it mean to worship God “in spirit”? It means we are ushered into worship by the Holy Spirit and mainly happens as an inward spiritual event that often leads to outward expressions. Jesus also quoted the Old Testament saying, *“This people honors me with their lips, but their heart is far from me; in vain do they worship me...”* (Matthew 15:8-9).

There is no specific temple or location that God designates as distinctly holy or as the only place he resides (Acts 7:48, Acts 17:24-25). Rather God is ever present, unconfined to one location at a time, and God’s Holy Spirit specially dwells in believers. The only way to commune with God is to be united with Christ through faith—not by giving money, not by lighting incense, not by washing your

起こることではありません。神が私たちに求められる義を与えることができるのは、イエス・キリスト以外には誰もいないということを、クリスチャンである私たちは知っています。

🗨️ 考えましょう：ある夫が、妻に花束をプレゼントしたとします。しかし夫は結婚記念日の単なる義務感から贈っただけで、彼の心に妻に対する喜びや愛が無かったとしたら、妻はこの夫からのプレゼントを本当に嬉しく思うでしょうか？それはなぜでしょうか？

妻はこのプレゼントを嬉しく思わないでしょう。そればかりか、花束を贈ることが単なるうわべだけの行動だとしたら、妻は不快にすら思うかもしれません。妻が求めているのは、夫の愛情です。それと同じように、神は礼拝する人が、心から、霊をもって礼拝することを求めておられます。私たちの心にある愛から生まれたものでなければ、歌や献金、奉仕そのものはうわべの行動であって「礼拝」ではありません。

では、「まことによって」神を礼拝するとはどういう意味でしょうか？それは、礼拝は神がイエス・キリストを通して私たちのためにしてくださったまことの御業への応答である、ということです。その御業は、神のまことの思いによって形造られ導かれたものです。誰も、唯一でまことの神を知らずに礼拝することはできません。神がご自身を明らかにしてくださったことにより、私たちは今、神を知ることができ、神のまこと、恵み、そして素晴らしさに礼拝を通して応えるのです。

2. 私たちの生活すべてをとおして

ローマ人への手紙12章1節

📖 そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。

旧約聖書で、神はイスラエルの民に、金銭的・象徴的価値のある動物のいけにえを携えて礼拝するようにと告げられました。それと同じように、私たち

hands or your mouth. We know as Christians that nothing except Jesus Christ can give us the righteousness that God requires of us.

🗨️ *Consider: If a husband gives his wife flowers merely out of duty or obligation on their anniversary but has no joy or love in his heart for his wife, will she truly be honored in receiving the gift from her husband? Why?*

The wife will not be honored, and because giving the flowers was merely an external action, she may not even enjoy them; what she wants is her husband's affections. Similarly, God is seeking worshipers who worship him from their spirits—from their hearts. External actions such as singing, giving offering, or serving by themselves are not “worship” unless they proceed from affections in our hearts.

What does it mean to worship God “in truth”? It means worship is a response to the true work God has done for us in Jesus Christ—shaped and guided by true views of God. One cannot worship the one true God without knowing him. Now that God has made himself known to us and we know him, we respond to his truth, his goodness, and his greatness with worship.


2. With Our Whole Lives

Romans 12:1

📖 *I appeal to you therefore, brothers, by the mercies of God, to present your bodies as a living sacrifice, holy and acceptable to God, which is your spiritual worship.*

In the Old Testament, God told the Israelites to worship him by sacrificing animals, which were of monetary and symbolic value. Similarly, we worship God in everyday life by living a life surrendered


は毎日の生活において、神にその歩みを明け渡すことで神を礼拝します。それはつまり、私たちの行いすべてが、新しい心から生まれたものであることを示しています。新しい心は、私たちの行動すべて、また自分自身そのものが、神の栄光のために存在することを願います。そのようにして、私たちは礼拝の「生きた供え物」となります。私たちが心から礼拝をもって神に応答するとき、私たちは自分のすべてのものを神に捧げたいと願うようになります。時間、力、賜物、お金、夢、計画、人間関係、また私たちが創り出す詩、歌、絵画などです。神はこれらの供え物を礼拝として受け入れてくださいます。

 考えましょう：私たちの生活は様々な分野に分かれています。あなたの今の生活にはどのような分野がありますか？その中で、礼拝しやすい分野、また礼拝しにくい分野は何ですか？

3. 賛美をもって


賛美という特別な形で神をたたえることは、素晴らしい礼拝の表し方です。聖書にある詩篇は、礼拝の心を歌う神への賛美に満ちており、クリスチャンが賛美を捧げるときの指針として用いることができます。

詩篇150篇

 ハレルヤ。神の聖所で、神をほめたたえよ。御力の大空で、神をほめたたえよ。その大能のみわざのゆえに、神をほめたたえよ。そのすぐれた偉大さのゆえに、神をほめたたえよ。角笛を吹き鳴らして、神をほめたたえよ。十弦の琴と立琴をかなでて、神をほめたたえよ。タンバリンと踊りをもって、神をほめたたえよ。緒琴と笛とで、神をほめたたえよ。5 音の高いシンバルで、神をほめたたえよ。鳴り響くシンバルで、神をほめたたえよ。6 息のあるものはみな、【主】をほめたたえよ。ハレルヤ。

クリスチャンは、神を礼拝するために毎週、他のクリスチャンと集まる時間を聖別しているだけでなく、どんな場所においても、いつも神を礼拝することを心がけています。クリスチャンは、私たちの人生において神がして


to God—meaning all that we do is birthed from a new heart that desires all our actions and our entire being to exist for God’s glory. In this way we are a “living sacrifice” of worship. Responses of worship in our hearts lead us to want to give everything to God: our time, energy, talents, money, dreams, plans, relationships, and things we create like poetry, songs, and paintings. God accepts these sacrifices as worship.

 *Consider: What are the different areas of your life right now? In which area do you most easily worship? In which area is it hardest to worship?*

3. With Praise

Specifically praising God with songs of praise is a significant way to worship God. The book of Psalms in the Bible is full of worshipful praises to God and can be used by Christians to help guide our praises.


Psalm 150

 *Praise the LORD! Praise God in his sanctuary; praise him in his mighty heavens! Praise him for his mighty deeds; praise him according to his excellent greatness! Praise him with trumpet sound; praise him with lute and harp! Praise him with tambourine and dance; praise him with strings and pipe! Praise him with sounding cymbals; praise him with loud clashing cymbals! Let everything that has breath praise the LORD! Praise the LORD!*


Christians set aside a weekly gathering time with other Christians to worship God, and Christians also try to worship God everywhere at all times. Christians praise God for what he has done and is doing in our

くださったこと、そして日々してくださっていることに対して賛美をささげます。神への賛美は、大きな音の賑やかな音楽やお祝いで表現されたり、静かな瞑想的な音楽や、静かな黙想の内に表されたりします。

礼拝は、あなたがクリスチャンとして生きる日々の生活の一部であるべきです。毎日祈りとみことばの時間を持つときに、神を礼拝する習慣をつけましょう。それには様々な方法があります。例えば、あなたが読んだ聖書箇所に表示されている神の素晴らしさを、礼拝の心をもって黙想したり、それを書き留めたりすることができます。または、あなたの人生や最近の出来事で見た神の栄光を振り返ってみたり、賛美歌やワーシップソングを用いて礼拝したりすることもできます。また、聖書の中にある詩篇を用いるのも良いでしょう。詩篇には、神に向けて、または神について表現した礼拝の心があふれる歌や詩が沢山あります。私たちが何をするときでも、すべてにおいて神を礼拝し、神の栄光を現すことができます（コリント人への手紙第一 10章 31節）。ですから、絵を描くときも文章を書くときも、作曲するときも創作するときも、設計するときもデザインするときも、仕えるときも料理するときも、その他何をするときでも、神を礼拝する心を持ちましょう！


 考えましょう：神のご性質や御業、神がしてくださったこと、また与えてくださったことを思い浮かべましょう。あなたにとって、何が神への礼拝の心を強く動かしますか？

一歩踏み出しましょう！


 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

lives. Christians also praise God for who he is. Christians praise God with loud, exciting music and celebration, with quiet contemplative music, and with quiet reflection.

Worship should be a part of your Christian daily life. Make a habit of worshipping God when you pray and read his Word each day. You can do this in a variety of ways such as worshipfully reflecting or journaling about God's greatness revealed in the scripture passage you read, reflecting on God's glory revealed in life and recent events, and through the use of songs. You can also use the book of Psalms in the Bible which is full of worshipful songs and poems to and about God. Anything and everything we do can be done to worship and glorify God (1 Corinthians 10:31), so paint, write, draw, compose, create, engineer, design, serve, cook, etc., in worship of God!

 *Consider: What is it about God's character, his works, the things he has done for you, or the things he has given you that compel you to worship him?*

Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

神の使命

詩篇96篇1～5節



新しい歌を【主】に歌え。 全地よ。【主】に歌え。【主】に歌え。
御名をほめたたえよ。日から日へと、御救いの良い知らせを告げよ。
主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々
の民の中で。まことに【主】は大いなる方、大いに賛美されるべき方。
すべての神々にまさって恐れられる方だ。まことに、国々の民の神々
はみな、むなしい。しかし【主】は天をお造りになった。

聖書全体において、神を礼拝することは神の使命への意欲であり目標です。

礼拝は、神の使命への意欲となります。それは、私たちが神の素晴らしさへの
応答として礼拝を捧げ、神の恵みを喜び、また神がどれほど素晴らしいお
方であるかを思い巡らすとき、そのことが「主の栄光を国々の中で語り告げ
る」意欲となるからです。このように、神の使命への意欲は、神を愛し礼拝
する心から自然と湧き出てくるものです。

礼拝はまた、神の使命の目標です。なぜなら、神は「大いに賛美されるべき
方」であり、「すべての神々にまさって恐れられる方」であるべきだからで
す。福音を伝えるとき、私たちは神がこの宇宙の中で最も偉大で、最も素晴
らしく、最も美しいお方であり、神こそ礼拝にふさわしいお方であることを
人々に伝えようと努めます。弟子を作ることは、神の新しい礼拝者を作るこ
となのです。

互いに励まし合いましょう：



あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与え
てくださいましたか？



あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はど
のように働きかけられておられますか？

God's Mission

Psalms 96:1-5



*Oh sing to the LORD a new song; sing to the LORD, all the
earth! Sing to the LORD, bless his name; tell of his salvation from
day to day. Declare his glory among the nations, his marvelous
works among all the peoples! For great is the LORD, and greatly
to be praised; he is to be feared above all gods. For all the gods
of the peoples are worthless idols, but the LORD made the
heavens.*

Throughout the Bible, worshiping God is both the motivation and the
goal of God's Mission.

Worship is the motivation for God's Mission because when we respond
to God's greatness with worship, when we rejoice in his goodness, and
when we meditate on how awesome he is, we are motivated to
"declare his glory among the nations." In this way, motivation for God's
Mission is a natural overflow of a heart that loves and worships God.

Worship is also the goal of God's Mission because God is "greatly to
be praised" and should be "feared above all gods." In sharing the
gospel we seek to show people that God is the greatest, most
wonderful, most beautiful being in the universe and that he is worthy of
worship. Making disciples is making new worshipers of God.

Encourage One Another:




*What opportunities has God provided to lead others closer
toward knowing Christ?*




*How have you seen God working in the lives of those you want
to lead to Christ?*

互いのために祈りましょう：

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合しましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合しましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。


互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？


神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Pray for One Another:

 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

6

ステップ6 教会

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前は礼拝について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

🗨️ 考えましょう：「教会」という言葉を聞いて、何を連想しますか？

6

Step 6 Church

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time about worship.

🗨️ Consider: What comes to your mind when you hear the word "church"?

私たちがクリスチャンになるとき、神は私たちを神の家族に入れてくださいます。それが教会です。聖書では「教会」という言葉が2通りの意味で使われています。

信仰を持つ人々が地域で集まる場所という意味での教会。共に集まり、地域のリーダーに従属する群れのこと。

神が選ばれた、世界中にいるイエス・キリストを信じる人たち、という意味での教会。

教会とは？

1. 共通のアイデンティティーを持つ家族

エペソ人への手紙2章19～22節



こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。この方にあって、組み合わされた建物の全体が成長し、主にある聖なる宮となるのであり、このキリストにあって、あなたがたもともに建てられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

クリスチャンであるあなたは、神を信じ愛することをまだ理解していない社会との隔たりを感じているかもしれません。しかし、私たちは今や新しい国の民とされ、時代と国境を超える神の家族の一員となっているのです。



考えましょう：あなたがクリスチャンになったことで、家族や友人、または社会との隔たりを感じたことはありますか？教会の家族に受け入れられているように感じますか？

When we become Christians God adopts us into his family, called the church. The Bible uses the word “church” with two different meanings:

Church as the local gathering of believers, committed to meeting together and in submission to a local leadership.

Church as God’s chosen worldwide people; all believers in Jesus Christ.

What is the church?

1. A family with a common identity.

Ephesians 2:19-22



So then you are no longer strangers and aliens, but you are fellow citizens with the saints and members of the household of God, built on the foundation of the apostles and prophets, Christ Jesus himself being the cornerstone, in whom the whole structure, being joined together, grows into a holy temple in the Lord. In him you also are being built together into a dwelling place for God by the Spirit.

As a Christian you may feel isolated from the society around you that does not yet understand your faith and love for God. But we are citizens of a new kingdom and members of a family that stretches throughout time and around the world.



Consider: Have you felt isolated from your family, friends, or society because you became a Christian? Have you felt welcomed into the church family?

2. 神のための、神の人々

ペテロの手紙第一2章4～5、9～10節



主のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石です。あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい... しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。

教会は建物ではありません。建物のように、「霊の家」として共に築き上げられた人々こそが、教会なのです。教会に属する一人ひとりがレンガのように組み合わさって、「神に喜ばれる霊のいけにえ」をささげるという一つの目的のために築き上げられています。

それぞれの過去に関わらず、私たちは今、神の民です。神は私たちを選び、救い、新しく造り変え、そしてご自身のものとしてくださいました。それは、私たちが神の「すばらしいみわざを...宣べ伝えるため」です。私たちが教会として存在しているのは、神を礼拝し、神の臨在をとこしえに楽しむためです。



考えましょう：教会のコミュニティーには、他の様々なコミュニティーと比べてどのような特徴があるのでしょうか？

教会は何をするべきでしょうか？

1. 教会は、礼拝を捧げ、祈り、教え、交わり、そして互いを愛するために集まります。使徒の働きに描かれている初代教会の姿は、聖書の中でも教会の最も理想的な姿と言えるでしょう。

2. The people of God, for God.

1 Peter 2:4-5, 9-10



As you come to him, a living stone rejected by men but in the sight of God chosen and precious, you yourselves like living stones are being built up as a spiritual house, to be a holy priesthood, to offer spiritual sacrifices acceptable to God through Jesus Christ. ... But you are a chosen race, a royal priesthood, a holy nation, a people for his own possession, that you may proclaim the excellencies of him who called you out of darkness into his marvelous light. Once you were not a people, but now you are God's people; once you had not received mercy, but now you have received mercy.

The church is not a building, but it is a people built together like a building—"a spiritual house." Each member is like a brick, built together for a common purpose—offering "spiritual sacrifices acceptable to God."

No matter what our past is, we are now God's people. He chose us, he saved us, he made us new, and he made us his own that we may "proclaim the excellencies" of God. We, the church, exist for God, to worship him and enjoy him forever.



Consider: What do you think is unique about the church community compared to other types of communities?

What does the church do?

1. The church gathers for worship, prayer, teaching, fellowship, and loving one another. One of the best pictures of a church is the Bible's description of the very first church in the book of Acts.

使徒の働き2章42、44～46節



そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた... 信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた... そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし...

この聖書箇所では、教会が「みないっしょに」神を愛し、互いを愛している様子が見られます。共に祈り合い、礼拝に集い、説教やバイブルスタディーを通して神のことばを学び、互いがイエスの戒めに従うよう助け合うとき、私たちは共に神を愛しています。そして、クリスチャンの交わりに定期的に集い、必要に応じて施し合い、互いに罪を告白し合い、愛を持って互いの罪を指摘し合い、自分よりも他の人を大切に考え、その人のために出来ることを求め、そして互いの重荷を負い合うとき、私たちは互いに愛し合っているのです。もちろんその中で、互いの存在を楽しむこともできます。イエスが互いに愛し合いなさいと命じられたのは（ヨハネの福音書13章34節）、クリスチャン同士に向けて与えられた言葉でした。クリスチャンの交わりの中では、神を愛し他のクリスチャンを愛するために、常に自分よりも相手のことを優先し、相手のために時間が使えるよう努めるべきです。

教会の主日礼拝のような大きな集まり（「宮に集まり...」）や、スモールグループのような小さな集まり（「家でパンを裂き...」）は、クリスチャンの弟子訓練のために必要不可欠です。



考えましょう：教会として他のクリスチャンと集まるとき、あなたは何が一番の楽しみですか？教会の集まり（主日礼拝・スモールグループに関わらず）を通して、あなたはどのように成長することができましたか？

Acts 2:42, 44, 46



And they devoted themselves to the apostles' teaching and the fellowship, to the breaking of bread and the prayers. ... And all who believed were together and had all things in common. ... And day by day, attending the temple together and breaking bread in their homes, they received their food with glad and generous hearts, praising God and having favor with all the people.

Here we see the church together loving God and loving each other. We love God together when we pray together, gather for corporate worship, learn from God's Word through sermons and Bible studies, and help one another to obey Jesus' commands, etc. We love one another when we gather together regularly in Christian fellowship, give to one another as there is need, confess our sins to one another and lovingly point out sins in one another's lives, seek to serve others as more important than ourselves, and bear one another's burdens; and we can even do so as we enjoy one another's company. Jesus' command to love one another (in John 13:34) is in reference to other Christians. A Christian makes sacrificial efforts to prioritize their time in order to love God and other Christians in the context of a Christian community.


Both large church gatherings like Sunday mornings ("attending the temple together") and small church gatherings like small groups ("breaking bread in their homes") are vital for our Christian discipleship.



Consider: What do you enjoy about gathering with the church? How have church gatherings (either on a Sunday or with a small group) challenged you?

2. 教会は神の働きのために人を整え、散らす。


使徒の働き 8章4節

 他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。

使徒8章では、クリスチャンたちはエルサレムで起こった厳しい迫害のため、あらゆる地に散らされます。彼らの姿から、私たちは大切なことを学ぶことができます。彼らはどこに行っても、そこでイエス・キリストの福音を伝えたのです！

私たちクリスチャンは毎週、日々の生活の中で、イエスによる神の救いのご計画のために生きています。福音を伝え、周囲の人を愛し、暗やみの中の光となります。私たちは、神のことばをさらに学び、互いに励まし合うことを通して、共に力を得るために集まるのです。

ヘブル人への手紙 10章24～25節


 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

教会のリーダーシップ

教会は監督（長老）と呼ばれる複数のリーダー達が率いるべきだと神は定められました（テモテへの手紙第一3章1～7節）。彼らは羊の群れを牧するように教会を導きます（そのため「牧師」と呼ばれる：ペテロの手紙5章1～2節）。そして、正しい聖書の教理を守り（使徒の働き20章28～30節）、群れを教えます（テモテへの手紙第一3章2節）。クリスチャンは誰でも、地域教会に与えられている敬虔な信仰を持つ権威ある者に従うべきです。

2. The church equips and scatters for the mission of God.


Acts 8:4

 *Now those who were scattered went about preaching the word.*

In Acts 8 the Christians were scattered due to harsh persecution that broke out in Jerusalem. An important principle can be observed from their example—wherever they went they shared the good news of Jesus Christ!

As Christians, we live on mission for Jesus throughout the week, sharing the gospel, loving those around us, and being a light in the darkness. We gather together to re-charge through learning more about God and receiving encouragement from one another.


Hebrews 10:24-25

 *And let us consider how to stir up one another to love and good works, not neglecting to meet together, as is the habit of some, but encouraging one another, and all the more as you see the Day drawing near.*


Church Leadership

God has designed for the church to be led by a plurality of leaders called elders (1 Tim 3:1-7). These men lead the church like shepherds of a flock (thus are called "pastors", 1 Peter 5:1-2), guard true Biblical doctrine (Acts 20:28-30), and teach the church (1 Tim 3:2). All Christians should submit themselves to godly Christian authority within the local church.

テサロニケ人への手紙 第一5章12～13節

 兄弟たちよ。あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主あってあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。


一歩踏み出しましょう！

 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。


神の使命

以下の聖書箇所で、イエスが教会についてどのように語られ、祈られたかを見てみましょう。


ヨハネによる福音書13章35節

 「もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」


ヨハネによる福音書17章20～21節

 わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにもお願いします。それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。

1 Thessalonians 5:12-13

 *We ask you, brothers, to respect those who labor among you and are over you in the Lord and admonish you, and to esteem them very highly in love because of their work. Be at peace among yourselves.*


Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.


God's Mission

Look what Jesus said to and prayed for the church in the following passages:

John 13:35

 *"By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another."*

John 17:20-21

 Jesus prayed: *"I do not ask for these only, but also for those who will believe in me through their word, that they may all be one, just as you, Father, are in me, and I in you, that they also may be in us, so that the world may believe that you have sent me."*

教会の交わりの中で福音が実践されているとき、福音の真実とその力は最大限に発揮されます。まだクリスチャンでない人が、クリスチャンたちが一致して互いに愛し合う姿を見ると、福音のメッセージを肌で感じるができるのです。私たちがイエスの弟子だと人に伝えることも大切です。しかしイエスは、私たちが互いに愛し合うことこそ、私たちがイエスの弟子だと示す方法であると教えられました。

キリストの弟子を作りたいと願うなら、私たちは神のことば（福音）を分かち合うと同時に、神の民（教会のコミュニティ）と繋がる機会を提供する必要があります。まだクリスチャンでない人々を教会の集まりに招き、クリスチャンが互いに愛し合う姿、そして彼らが神を愛し礼拝する姿を見てもらいましょう。そして、友人を招く私たちも、キリストにある兄弟姉妹の間でキリストにある一致を求めるべきです。

💬 考えましょう：神の使命を実践するために、教会の中にあなたが和解すべき人はいますか？

互いに励まし合ひましょう：

💬 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

💬 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

💬 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合ひましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合ひましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

One of the greatest witnesses of the truth and power of the gospel is the gospel at work in the community of the church. When non-Christians see Christians loving one another with unity, the message of the gospel becomes tangible to them. Telling others we are Jesus' disciples is important, but Jesus tells us that loving one another is how we show the world we are his disciples.

As we seek to make disciples we need to share the Word of God (the gospel) and the People of God (the church community). Invite non-Christians to church gatherings where they can see Christians loving one another and see Christians loving and worshiping God. And as we invite others, we should strive towards Christ-like unity with our Christian brothers and sisters.

💬 Consider: For the sake of God's mission, is there anyone in the church you need to be reconciled with?

Encourage One Another:

💬 What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?


💬 How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?

Pray for One Another:

💬 Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。


他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.



ステップ7 献金

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前は教会について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

私たちは自分の財産の使い方次第で、神と人への愛を示すことができます。これは、クリスチャンとしての歩みにおいてとても大切なことです。



Step 7 Offering

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time as we talked about the church.

An important part of the Christian life is expressing our love for God and others by the way we use our financial resources.

💬 考えましょう：人は、どのような動機から献金や寄付金などを施すのでしょうか？（お寺、教会、チャリティーなど場所に関わらず。）

人が献金をするとき、そこには様々な動機があるでしょう。人から良く見られたいから、皆がやっているから、もしくは何らかの見返り（運気が上がる、臨時収入を得る、幸せが舞い降りる、など）を期待しているからかもしれません。良いことのためにお金を施すのは、確かに気分も良いものです。そのような良い気分になることは、時として私たちの行動を促す要因かもしれません。では、キリスト教ではどうでしょうか。クリスチャンは、献金について根本的に違った見解を持っています。それがどのようなものか、そして私たちがなぜ、神のミッションのために教会を通じて献金を捧げるのか、学んでみましょう。

なぜ献金するのでしょうか？

1. 神が私たちを愛してくださったから—イエスが私たちのために犠牲を払ってくださったから。

コリント人への手紙第二8章7～9節

📖 あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。こうは言っても、私は命令するものではありません。ただ、他の人々の熱心さをもって、あなたがた自身の愛の真実を確かめたいのです。あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。

私たちが捧げるべき最も根本的な理由は、神が私たちにひとり子であるイエス・キリストを捧げてくださったからです。私たちは神の惜しみない恵みによって救われ、変えられ、突き動かされています。ですから、私たちは強制されてではなく、愛をもって喜んで捧げるのです。神に受け入れられるため、もしくは愛されるために捧げるものではありません。私たちは既に神に受け入れられ、愛されているからこそ、捧げます。神の愛に応え、私たちは神と人への愛を示すために捧げるのです。

💬 Consider: What are some motivations that people have when they give financial offerings? (Wherever that may be: a temple, the church, a charity, etc.)

There are a lot of reasons people can be motivated to give. Perhaps they want to look good for other people, they see everyone else doing it so they do it also, or they are expecting something good in return (good luck, more money, or happiness). Truthfully, giving to a good cause feels good. Maybe the good feeling we get by giving is what compels us sometimes. Let's look and see why Christianity has a fundamentally different approach to giving, and explain why we give to God's mission through the church.

Why do we give?

1. Because God loved us—through Jesus' sacrifice for us.

2 Corinthians 8:7-9

📖 But as you excel in everything—in faith, in speech, in knowledge, in all earnestness, and in our love for you—see that you excel in this act of grace also [“this act of grace” is giving—see context in 2 Corinthians 8]. I say this not as a command, but to prove by the earnestness of others that your love also is genuine. For you know the grace of our Lord Jesus Christ, that though he was rich, yet for your sake he became poor, so that you by his poverty might become rich.

The most foundational reason we give is because God gave his only Son Jesus Christ to us. We are a people who have been saved, changed, and motivated by God's generosity, and we give freely out of love, not out of compulsion. We give not in order to be accepted or loved by God, but because we already are accepted and loved by God. Responding to God's love for us, we give to show love to God and others.

2. 私たちが神を愛しているから—神は私たちの宝です。

マタイによる福音書6章19～21、24、33節



自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです... だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません... だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

私たちに与えられている選択肢は、金銭を宝とするか、もしくは神を宝とし、究極的に求めるものが神であることを金銭によって示すか、そのどちらかです。私たちが持っているものはすべて、神が与えてくださったものです。私たちにはその財産を管理する機会が与えられていますから、私たちが神を愛していること、神のミッションのために力を尽くしたいこと、そしてただ神のみが永遠に続く喜びと満足を与えてくださるお方であると確信していること、これらを示すことのできる形で、財産を管理するべきです。金銭は日々の生活を維持するために大切なものです。しかし、私たちは神をまず第一に求め、私たちの必要より先に神に捧げることで、神が備えてくださると信じる信仰を示すのです。



考えましょう：もし誰かがあなたのお金の使い道をすべて知っていたとしたら、その人は、あなたのお金の使い方を見て、あなたにとって何が最も大切だと思うのでしょうか？あなたの経済管理は、あなたが神を愛し、神のミッションに力を尽くすことを表していると思いますか？

2. Because we love God—he is our treasure.

Matthew 6:19-21, 24, 33



“Do not lay up for yourselves treasures on earth, where moth and rust destroy and where thieves break in and steal, but lay up for yourselves treasures in heaven, where neither moth nor rust destroys and where thieves do not break in and steal. For where your treasure is, there your heart will be also. ... No one can serve two masters, for either he will hate the one and love the other, or he will be devoted to the one and despise the other. You cannot serve God and money. ... But seek first the kingdom of God and his righteousness, and all these things will be added to you.”


Either you treasure money, or you treasure God and use money to show that God is your ultimate desire. Everything we have has been given to us by God. We have the opportunity to steward these resources in a way that shows our love for God, our commitment to his mission, and our confident belief that God alone gives lasting joy and satisfaction. Money is important for sustaining daily life; however, we show our faith in God's provision by first seeking him and giving back to him before meeting our needs.



Consider: If someone were to see all the ways that you spend your money, what might someone observe is important to you? Does the way you steward your finances demonstrate love for God and commitment to his mission?

3. 私たちは人々を愛しているから—そして教会を通じて神のミッションを支えることで、人々が霊的に豊かになることを願っています。

コリント人への手紙第二9章12～14節


 なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになるのです。

私たちが教会に献金するのは、人々を助け、その人たちが霊的に豊かになるためです。それはつまり、誰もが最も必要としていること—救いに導くためなのです。教会に捧げられた献金は、福音を広め神のミッションを達成するための資金として用いられます。また、献金は神のミッションと神の国が拡大されるよう、貧困、孤児、未亡人、人身売買、不正など、あらゆる社会的不公正に光を当てる働きにも用いられます。もし、教会の資金運用について質問があれば、気軽に教会のスタッフにお尋ねください。

どのように献金するべきでしょうか？


1. 個人的に捧げる

マタイによる福音書6章1～4節

 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。だから、施しをするときには、人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

3. Because we love people—and seek to make others spiritually rich by supporting God’s Mission through the church.

2 Corinthians 9:12-14


 *For the ministry of this service is not only supplying the needs of the saints but is also overflowing in many thanksgivings to God. By their approval of this service, they will glorify God because of your submission that comes from your confession of the gospel of Christ, and the generosity of your contribution for them and for all others, while they long for you and pray for you, because of the surpassing grace of God upon you.*

We give money to the church to help others and make them spiritually rich, which is to meet everyone’s most essential need: salvation. Funds given to the church are used to accomplish God’s Mission by spreading the gospel. Funds are also used to further God’s Mission and kingdom by addressing issues of social justice—poverty, orphans, widows, human trafficking, injustice, etc. Note: If you have questions about the finances of your church, please feel free to ask a staff member at the church.

How do we give?

1. Privately

Matthew 6:1-4

 *Beware of practicing your righteousness before other people in order to be seen by them, for then you will have no reward from your Father who is in heaven. Thus, when you give to the needy, sound no trumpet before you, as the hypocrites do in the synagogues and in the streets, that they may be praised by others. Truly, I say to you, they have received their reward. But when you give to the needy, do not let your left hand know what your right hand is doing, so that your giving may be in secret. And your Father who sees in secret will reward you.*

💬 考えましょう：なぜ、献金は私たちと神との間での個人的なものであるべきなのでしょう？

この質問に対する答えは人によって様々かもしれませんが、しかし、究極的に言うならば、献金は神をほめたたえ敬うための行為ですから、神との個人的な行いであるべきです。私たちが捧げるとき、神はその供え物を認め、礼拝のしるしとして受け取ってくださることを、私たちは確信しています（ピリピ人への手紙4章18節）。

2. 力に応じて（そしてそれ以上に！）捧げる

コリント人への手紙第二8章1～5節

📖 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思います。苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。私はあかしします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと熱心に私たちに願ったのです。そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従って、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。

神は私たちそれぞれに様々な収入、財産、また機会を与えてくださっています。神は私たち全員が同じ金額を捧げるのではなく、それぞれが与えられている経済的な恵みに応じて捧げることを願っておられます。収入が多ければ、多く捧げることができると同時に、信仰をもってそれを管理する責任もあります。私たちの人生の各ステージにおいても献金の捧げ方が変わってくるでしょう—独身の人は経済的な義務が比較的少ないため、神の国のために、収入の中からより大きな割合を献金にあてることができるかもしれません。多くのクリスチャンは、収入の1割を神に捧げるべきものとして実践しています。それだけでなく、私たちの力以上に献身的な思いをもって捧げることも、大きな恵みです。経済的に恵まれている日本のような国に住んでいる私たちは、収入の1割以上を捧げることも可能かもしれません。

💬 Consider: Why should giving be a private matter between us and God?


While we might have different ways of answering this question, ultimately it's a private matter between us and God because it is a way that we glorify and honor God. We give knowing that God sees our sacrifice and receives it as worship (Philippians 4:18).

2. According to your means (and beyond!)

2 Corinthians 8:1-5

📖 We want you to know, brothers, about the grace of God that has been given among the churches of Macedonia, for in a severe test of affliction, their abundance of joy and their extreme poverty have overflowed in a wealth of generosity on their part. For they gave according to their means, as I can testify, and beyond their means, of their own accord, begging us earnestly for the favor of taking part in the relief of the saints—and this, not as we expected, but they gave themselves first to the Lord and then by the will of God to us.


God has given each of us a different level of income, resources, and opportunities. God does not expect everyone to give the same amount but desires that we give according to the level of financial provision he has given us. The more income you receive, the more you are able to give, and the more you are expected to steward faithfully. Our situation in life also affects our giving—a single person with fewer financial obligations is able to leverage a greater percentage of his or her income for the kingdom of God. Many Christians strive to give 10% of their income back to God. Furthermore, it is a great grace to give beyond our means in a sacrificial way. Some of us in rich countries, like Japan, are probably able to give even more than 10% of our income.

 考えましょう：私たちが自分の力以上に献身的に捧げることは、なぜ霊的成長のために大切なのでしょう？

私たちが献身的に捧げるとき、神への信仰と信頼が強められます。なぜなら、はかないこの世の富に対する執着が消え去り、神を求める思いや、神の内にある喜び、そして人への愛と思いが強められるからです。私たちが献身的な思いで捧げるなら、神は私たちの人生を安易で、病気もない、裕福な暮らしで祝福しようとはされません。むしろ、王なる神の富と天の宝を忠実に守った良き管理者として、さらに素晴らしい豊かな喜びを私たちに与えてくださいます。

3. 喜び、進んで捧げる


コリント人への手紙第二9章7節

 ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。


神は金銭が欲しいのではなく、私たちの心の状態を見ておられます。ですから、強いられて捧げることは無意味です。しかし、喜んで神に献金する人の心を神は大いに喜ばれます。

4. 教会として一致し、定期的に捧げる

コリント人への手紙 第一16章2節

 私がそちらに行ってから献金を集めるようなことがないように、あなたがたはおのおの、いつも週の初めの日に、収入に応じて、手もとにそれをたくわえておきなさい。


クリスチャンは一定の収入を得るごとに、定期的に献金を捧げます。地域教会の活動と働き人を支えるために、クリスチャンが捧げるのは大切なことです（コリント人への手紙第一9章14節）。そして、おのおのが捧げた献金は一つに集められ、神の国を拡大させる素晴らしい働きのために、地域教会のリーダーシップのもとで用いられるのです（使徒の働き4章35節）。

 Consider: Why do you think it is important for our spiritual growth to stretch ourselves and give sacrificially?

As we sacrificially give, our faith and trust in God will increase, our desire for fleeting worldly wealth will decrease, and our desire for God, joy in God, and love and consideration of others will increase. God does not bless us with an easier, healthier, or wealthier life if we sacrifice financially. Rather we are given the greater and richer joys of being a faithful steward of the King's resources and of treasure in heaven.

3. Cheerfully and willingly


2 Corinthians 9:7

 Each one must give as he has decided in his heart, not reluctantly or under compulsion, for God loves a cheerful giver.

God is not after our money, he cares about the condition of our hearts. Giving to God out of compulsion is meaningless, but a heart that delights to give money to God is very pleasing to him.


4. Regularly as a united Church

1 Corinthians 16:2


 On the first day of every week, each of you is to put something aside and store it up, as he may prosper, so that there will be no collecting when I come.

Christians give regularly when they receive a portion of income. It is important that Christians give to their local church to support the ministry and ministers (1 Corinthians 9:14) and so all the Christians' offerings can be compiled together and used for great kingdom-advancing projects under the direction of the local church leadership (Acts 4:35).

一步踏み出しましょう！

 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。そして互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

神の使命**コロサイ人への手紙4章2～6節**

 目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。


コロサイ人への手紙4章には、身近な人にキリストのことを伝えるための実践的な教えがあります。

誰かに福音を伝える機会が与えられるために、神が門を開いてくださるよう祈り求めましょう。


その機会が与えられたとき、私たちは福音を明確に伝えるために神の助けが必要です。私たちがはっきり語れるように、神の助けを求めましょう。

「外部の人に対して賢明にふるまい」：リストについて話すために口を開く前から、私たちの行動はすでにイエスを証し、主が私たちの人生に何をしてくださったかを映し出しています。ですから、私たちは誰に対しても愛と恵みをもって接しましょう。知らない人であろうと、キリストのことを伝える機会が与えられるかもしれないからです。

Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission**Colossians 4:2-6**

 *Continue steadfastly in prayer, being watchful in it with thanksgiving. At the same time, pray also for us, that God may open to us a door for the word, to declare the mystery of Christ, on account of which I am in prison— that I may make it clear, which is how I ought to speak. Walk in wisdom toward outsiders, making the best use of the time. Let your speech always be gracious, seasoned with salt, so that you may know how you ought to answer each person.*

Colossians 4 gives us some practical ideas for effectively sharing Christ with those around us.

We can ask God to give you an open door of opportunity to share the gospel with someone.

When the opportunity comes we need God's help to be able to clearly communicate the gospel. We can ask God to help us make the gospel message clear.


"Walk in wisdom toward outsiders." Before we ever open our mouths to share the story of Christ, our actions are already a witness to others about Jesus and what he has done in our lives. We should treat everyone we meet with love and grace because we may have opportunities to share Christ with even a stranger.


私たちは神が与えられた機会を十分に生かして用いるべきです。神が与えてくださる経済的財産を管理する責任があるように、私たちは神の栄光のために、信仰をもって、時間、機会、そして人間関係を管理する責任があります。明日、誰かに福音を伝える機会がまた与えられるという保証はありません。ですから、今日神が与えてくださる機会を逃さないよう、常に目を開けていきましょう。

すべての会話が、イエス・キリストの福音で塩味のきいたものであるようにしましょう。会話がどんな内容であってもすべて神に帰するはずですから、意識し自然にキリストのことを話しましょう。「こんな気持ちの良い天気も神が造られたんだね。」「昨日、教会に行ったんだ。」「最近聖書をよく読んだ。なぜなら...。」「このように少しでもそのことに触れると、福音の全体を伝える機会の門が数多く開かれます。


私たちは、キリスト教に関する知識を問われても、すべての質問の答えを知っている必要はありません。しかし、イエス・キリストに個人的に抱いている希望と信頼についての答えは用意しておきましょう。イエスがあなたにしてくださったことについて、いつでも分かち合うことができるように備えましょう。

互いに励まし合いましょう：

 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びと一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

We can make the best use of the time God has given us. Just as God gives us financial resources to steward, we are also expected to faithfully steward our time, opportunities, and relationships for the glory of God. There is no guarantee that we will have another opportunity to share Christ with someone tomorrow. We can keep our eyes open for an opportunity today, not passing up any opportunity God gives us.

Let every conversation be sprinkled with the salt of the good news of Jesus Christ. Everything relates back to God, so no matter what you are talking about, we can intentionally and naturally speak of Christ. "What a beautiful day God has made." "Yesterday I went to church." "These days my favorite book to read is the Bible because..." Through making small comments like these, many doors of opportunity to fully share the gospel will be opened.


We don't necessarily need to know how to answer each person's intellectual inquires about Christianity, but we must be prepared to give an answer for our personal hope and trust in Jesus Christ. Always be prepared to share what Jesus has done for you.

Encourage One Another:

 *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*


 *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。


他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

8

ステップ8 家族

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前は財産と献金について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

自分の家族1人1人を愛することは、クリスチャンとしての歩みにおいて大切な一部です。聖書は、私たちが父、夫、母、妻、子ども、そして兄弟姉妹として、どのように生きるべきかを理解する助けとなります。

8

Step 8 Family

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time as we talked about finances and offering.

An important part of the Christian life is loving those in our families. The Bible helps us understand how we are to live as fathers, husbands, mothers, wives, children, brothers, and sisters.

家族のはじまり

家族は人間社会の中でなくてはならないものです。これは、神が世界を創造されたときに定められた仕組みに基づくものです。

神が初めの人間であるアダムを造られた後のことについて、聖書にはこう記されています。

創世記2章18～24節



神である【主】は仰せられた。「人が、ひとりでいるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」神である【主】は土からあらゆる野の獣と、あらゆる空の鳥を形造り、それにどんな名を彼がつけるかを見るために、人のところに連れて来られた。人が生き物につける名はみな、それがその名となった。人はすべての家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名をつけた。しかし人には、ふさわしい助け手が見つからなかった。神である【主】は深い眠りをその人に下されたので、彼は眠った。そして、彼のあばら骨の一つを取り、そのところの肉をふさがれた。神である【主】は、人から取ったあばら骨をひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。人は言った。「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。これは男から取られたのだから。」それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。

これは、神が定められた結婚制度です。1人の男と1人の女が結ばれ、一体となり、死によって別れるまで共に生きるというものです。

神はまた、結婚した夫婦が子供をもつように定められました。

創世記1章28節



神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ…」

The Origin of Family

Family is a vital part of human society. This is according to the order God designed when he created the world.

After God created the first man, Adam, the Bible says:

Genesis 2:18-24



Then the LORD God said, "It is not good that the man should be alone; I will make him a helper fit for him." Now out of the ground the LORD God had formed every beast of the field and every bird of the heavens and brought them to the man to see what he would call them. And whatever the man called every living creature, that was its name. The man gave names to all livestock and to the birds of the heavens and to every beast of the field. But for Adam there was not found a helper fit for him. So the LORD God caused a deep sleep to fall upon the man, and while he slept took one of his ribs and closed up its place with flesh. And the rib that the LORD God had taken from the man he made into a woman and brought her to the man. Then the man said, "This at last is bone of my bones and flesh of my flesh; she shall be called Woman, because she was taken out of Man." Therefore a man shall leave his father and his mother and hold fast to his wife, and they shall become one flesh.

This was the institution of marriage as God designed it—one man and one woman, joined together as one flesh, until they are separated by death.

God also designed married couples to have children.

Genesis 1:28



And God blessed them. And God said to them, "Be fruitful and multiply and fill the earth...."

世界で初めの男と女は、神が造られた本来のかたち通り、家族として存在していました。しかし現在の世界は、罪で崩壊しています。完全な家族はもはや存在しません。家族を持たない人や、家族を持っていたとしても、その家族を愛することに苦悩している人も多くいます。しかし、神が家族を造られたのは、とこしえに続く神の家族という、より深い奥義に導くためです。そして神は私たちをその家族の一員としてくださったのです。

クリスチャンにとって、家族とは？

私たちはほとんどが息子または娘、父または母、兄弟または姉妹です。聖書は、神を敬い、私たちに喜びをもたらす家族としての素晴らしい生き方を教えてください。

1. 夫と妻

エペソ人への手紙5章22～33節



妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。教会がキリストに従うように、妻も、すべてのことにおいて、夫に従うべきです。

夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。私たちはキリストのからだの部分だからです。「それゆえ、人は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となる。」この奥義は偉大です。私は、キリストと教会とをさして言っているのです。それはそうとして、あなたがたも、おのおの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい。

The first man and woman, as God originally created them, existed within a family. Today the world is broken from sin. There are no perfect families. Many people do not have a family, and all of us with a family struggle to love the family that we have. But God created family to point us toward the deeper reality of the eternal family of God into which he has adopted us.

The Christian Vision of Family

Most of us are a son or daughter, father or mother, brother or sister. The Bible gives a wonderful vision of the type of family life that honors God and gives us joy.

1. Husbands and Wives

Ephesians 5:22-33



Wives, submit to your own husbands, as to the Lord. For the husband is the head of the wife even as Christ is the head of the church, his body, and is himself its Savior. Now as the church submits to Christ, so also wives should submit in everything to their husbands.

Husbands, love your wives, as Christ loved the church and gave himself up for her, that he might sanctify her, having cleansed her by the washing of water with the word, so that he might present the church to himself in splendor, without spot or wrinkle or any such thing, that she might be holy and without blemish. In the same way husbands should love their wives as their own bodies. He who loves his wife loves himself. For no one ever hated his own flesh, but nourishes and cherishes it, just as Christ does the church, because we are members of his body. "Therefore a man shall leave his father and mother and hold fast to his wife, and the two shall become one flesh." This mystery is profound, and I am saying that it refers to Christ and the church. However, let each one of you love his wife as himself, and let the wife see that she respects her husband.

役割

聖書は、夫と妻にはそれぞれ違った役割があり、家族の中では双方に同じ価値があると教えています。夫は妻の、そして家族の、かしらであるようにと神から委任されています。夫はリーダーとしての役割を担っているのです。これは、夫が妻より勝っているという意味ではありませんし、また、何でも夫の思うようにできるという意味でもありません。夫が委ねられている家族のリーダーという役割は、神の絶対的な権威のもとに与えられています。つまり、夫は妻や家族を率いる上で、神の御前に正しくある責任があるのです。

妻たち

クリスチャンの妻たちは、夫に従い、夫を尊敬するようにと命じられています。人間本来の性質や文化は、時に私たちが自分の権威を確立し、思いのままに行動し、自分の道を突き進むことが幸せへの鍵だ、と囁きます。しかし、私たちを形造られた創造主である神は、妻には夫のリーダーシップに従う義務があるとされました。キリストに従うように夫にも従うことによって、結果として、自分の道を進むよりも、神にあって大きな喜びが与えられるのです。従順であるということは、受け身で盲目的に夫に付いていくという意味ではありません。夫婦ならば、難しい決断を下すときは共に議論し祈り合うのが健全でしょう。しかし、夫婦で意見が一致しない時、妻は夫の下す判断に任せるべきです。そして、結果は神に委ね、愛と尊敬をもって喜んで夫を支えるのです。しかし、夫に従うことで罪を犯すことになる場合、クリスチャンの妻は決して夫に従ってはいけません。注：場合によっては、夫婦間に複雑で難しい問題が出てくる場合があります。結婚生活に関する質問や心配事などあれば、スモールグループのリーダーや牧師に遠慮なく相談してください。

夫たち

夫たちにはリーダーシップが委ねられていると同時に、キリストが教会を愛されたように妻を愛するように命じられています。キリストは私たちを、そして教会を、このように愛されました：

Roles

The Bible teaches that husbands and wives have different roles of equal value within the family. Husbands are mandated by God to be the head of their wives and families; they have the role of leader. This does not mean that husbands have more value than their wives. Nor does this mean that husbands can do whatever they wish. Leadership of the family is delegated to husbands under the ultimate authority of God, to whom husbands will give account for the way they led their wives and families.

Wives

Christian wives are commanded to submit to and respect their husbands. Nature and culture sometimes tells us that we will be happier if we assert our authority, preserve our preferences, and get our own way. However, God, our designer and creator, mandates that wives submit to their husband's leadership. Ultimately, submitting to one's husband out of submission to Christ will bring greater joy in God than getting one's own way. Submission does not mean passivity or blindly following one's husband. It is healthy for a married couple to discuss and pray together about difficult decisions. And when a couple cannot agree, the wife should let the responsibility of the decision fall to her husband; entrust the outcome to God; and gladly support her husband out of love and respect. A Christian wife, however, should never follow her husband into sin. Note: there can be complex, difficult marital situations. Please always feel free to talk to your small group leader or a pastor about questions or concerns you may have in this area of marriage.

Husbands

Though leadership is delegated to husbands, they are commanded to love their wives as Christ loved the church. Christ loved us, his church, in this way:

ビリビ人への手紙2章3～8節



何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられなかったと考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

夫たちは自己中心的な思いを捨て、妻と子供たちにとって最善であることだけを心から求め、家族を愛し、養い、守り、助けることに日々全身全霊を尽くさなければなりません。キリストが教会を聖めるためにご自身を捧げられたように、夫たちは妻と子供たちの霊的成長のために、毎日数えきれないほどの犠牲を払う必要があります。夫たちは、家族のリーダーとなり責任を持つ、という、栄光ある重荷を背負っているのです。

夫たちは、家族を導き家族に仕えることを通して、喜びに満ちた自己犠牲の人生に招かれています。妻の霊的恵みのために愛をもって自分自身を捧げるクリスチャンの夫と、夫に従い、夫を尊敬し支えるクリスチャンの妻は、神を敬いキリストと教会の奥義をたたえる素晴らしい関係です。

では、夫または妻のどちらかがクリスチャンでない場合はどうでしょうか？クリスチャンは信仰を持っていない相手との結婚を禁じられていますが、（コリント人への手紙第2章14～16節、コリント人への手紙第1章7章39節）夫婦のどちらかが結婚後に信仰を持ち、もう一方は信仰を持たないままであることがあります。そのような状況にある夫婦に対して、聖書は次のように励ましています。

ペテロの手紙第1章3章1～2節



同じように、妻たちよ。自分の夫に服従しなさい。たとい、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって、神のものとされるようになるためです。それは、あなたがたの、神を恐れかしこむ清い生き方を彼らが見るからです。（コリント人への手紙第1章12～16節も参照。）

Philippians 2:3-8



Do nothing from selfish ambition or conceit, but in humility count others more significant than yourselves. Let each of you look not only to his own interests, but also to the interests of others. Have this mind among yourselves, which is yours in Christ Jesus, who, though he was in the form of God, did not count equality with God a thing to be grasped, but emptied himself, by taking the form of a servant, being born in the likeness of men. And being found in human form, he humbled himself by becoming obedient to the point of death, even death on a cross.

Husbands must deny all selfishness, wholly seek the good of their wives and children, and daily expend all energy and effort in loving, providing for, protecting, and caring for their families. Like Christ sacrificed himself to purify his church, so husbands must make countless sacrifices each day to spiritually edify their wives and children. Husbands bear the glorious burden of leadership and responsibility for their families.

The husband is called to a life of joyful, self-sacrifice as he leads and serves his family. A Christian husband sacrificing himself in love to seek his wife's spiritual good, supported by a submissive and respectful Christian wife, is a beautiful relationship that honors God and exalts the deeper reality of Christ and his church.

What about when one's husband or wife is not a Christian? Though Christians are forbidden to marry outside the faith (2 Corinthians 6:14-16 and 1 Corinthians 7:39), sometimes one member of a married couple becomes a Christian but the other does not. The Bible gives the following encouragement to those in such situations.

1 Peter 3:1-2



Likewise, wives, be subject to your own husbands, so that even if some do not obey the word, they may be won without a word by the conduct of their wives, when they see your respectful and pure conduct. (See also 1 Corinthians 7:12-16.)

💬 考えましょう：あなたの知り合いで、一方のみがクリスチャンという夫婦はいますか？あなたのグループの中に、このような状況にある人はいますか？そのような人を私たちはどう励まし支えることができるでしょうか？

2. 両親と子供たち

エペソ人への手紙6章1～4節

✚ 子どもたちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え。」これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、「そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする」という約束です。父たちよ。あなたがたも、子どもをおこらせてはいけません。かえって、主の教育と訓戒によって育てなさい。

子供たち

神は家族内での権威を両親に与えられたので、子供たちは両親を敬い、両親に従わなければなりません。クリスチャンは最高の権威である神への従順と服従を前提に、私たちの上に置かれている権威（両親、上司、政府を含む）に従うように命じられています。神が私たちの上に権威ある存在を置かれたのは、私たちがその権威に従うこと自体が、自分自身の罪深い誇りを捨てる訓練となり、神への従順へと導くからです。（ローマ人への手紙13章1～7節、エペソ6章5～9節、コロサイ人への手紙3章18節～4章1節、ペテロの手紙第一2章13節～3章7節参照。）

クリスチャンの子供たちは、両親がクリスチャンでない場合でも、両親に従うべきです。ただし、両親が子供たちに罪を犯すよう命じたり、神が望まれることを禁じる場合は例外です（使徒の働き5章28～29節参照）。しかし、どのような状況にあっても、子供たちは常に尊敬と敬意を持って両親と接する必要があります。両親に反してキリストに従っている場合でも同じです。

💬 Consider: Do you know anyone who is a Christian while their spouse is not? Is anyone in the group in this sort of situation? In what ways can we encourage and support those in this situation?

2. Parents and Children

Ephesians 6:1-4

✚ Children, obey your parents in the Lord, for this is right. "Honor your father and mother" (this is the first commandment with a promise), "that it may go well with you and that you may live long in the land." Fathers, do not provoke your children to anger, but bring them up in the discipline and instruction of the Lord.

Children

God has delegated authority in the family to the parents, and children are required to honor and obey their parents. Christians are commanded to obey all authority over us (including parents, bosses, and governments) out of obedience and submission to God, our ultimate authority. God places authority figures over us, and obedience to them trains us to lay down sinful pride and leads us towards obedience to God. (See also, Romans 13:1-7, Ephesians 6:5-9, Colossians 3:18-4:1, 1 Peter 2:13-3:7.)

Christian children should obey even non-Christian parents, except when parents command children to sin or forbid them from doing that which God requires (see Acts 5:28-29). But children must always act with honor and respect towards their parents, even when following Christ as opposed to their parents.

子供たちにとって、両親を敬い、尊敬し、愛することが難しいと感じることもあるかもしれません。そのような場合は、隣人を愛し、敵を愛しなさいと命じられたイエスの言葉を思い出し、その命令が私たちの家族にも当てはまることを覚えましょう。このような愛を持つことは、自分の力では不可能です。しかし、聖霊の助けによって、過去に自分自身を深く傷付けた人をも愛することができるようになります。イエスも十字架上でこのように祈られました。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」（ルカによる福音書23章34節）。

両親

神は両親に、子供たちが権威に従うように教える、という大切な役割を与えられました。この訓練は最終的に神の権威に従うことを教え、子供たちが自分の罪に気づき、神の恵みへと導かれるためのものです。両親は、決して子供たちを怒らせたり、罪深い方法で親としての権威を乱用してはいけません。両親は自分自身の足りなさを頻繁に子供たちに告白し、赦しを求める必要があるでしょう。このような正直で謙遜な姿勢は、子供たちの心を掴み、恵みと愛に満ちた天の父なる神に導く助けとなるはずです。

上記のエペソ人への手紙6章4節では、両親は子供たちを教育するように、と教えています。私たちは、面倒だから、または教育を強いるのが不安だからという理由で、子供たちの罪を見過ごしてはいけません。最終的に、主にある教育は子供たちへ両親の愛を教えるからです（ヘブル人への手紙12章5～6節）。

さらに両親には、子供たちに主の道を教える、という大切な役割が与えられています。私たちは子供たちの心を変えることはできませんが、福音の忠実な証し人となることはできます。

申命記6章4～9節



聞きなさい。イスラエル。【主】は私たちの神。【主】はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、【主】を愛しなさい。私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを

Sometimes children may find it very difficult to honor, respect, and love their parents. In these cases, we must remember that all of Jesus' commands to love our neighbors and our enemies also apply to the members of our family. Such love is not possible with our own strength but the Holy Spirit helps us to love those who may have hurt us very deeply. Even Jesus prayed while hanging on the cross, "Father, forgive them, for they know not what they do" (Luke 23:34).

Parents

God has given parents the important role of teaching their children to obey their authority. This trains children to ultimately obey God's authority and reveals to children their own sin and leads them toward God's grace. Parents must never provoke their children nor misuse their position of authority in sinful ways. Parents will frequently need to confess their own failings as parents to their children and ask for forgiveness. Such honest humility will win the hearts of our children and help guide them toward our gracious and loving heavenly Father.

In Ephesians 6:4 above, parents are told to discipline their children. We should not overlook our children's sins just because we are too lazy to address them or too insecure to enforce discipline. Ultimately, godly discipline will show our children that we love them (Hebrews 12:5-6).

Furthermore, parents have the important role of instructing their children in the way of the Lord. We cannot change our children's hearts, but we can be a faithful witness to the gospel.

Deuteronomy 6:4-9



"Hear, O Israel: The LORD our God, the LORD is one. You shall love the LORD your God with all your heart and with all your soul and with all your might. And these words that I command

、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込まなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。これをするしとしてあなたの手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。

申命記6章でモーセが神の民に命じたように、両親は子供たちを常に神の道に導かなければいけません。夕食を共にする時も、居間で一緒に座している時も、街と一緒に探索している時も、その他どのような時にも同じことが言えます。日々の生活の中で、神について話す機会を生かしましょう。映画やテレビのどの内容が神に喜ばれるものか、喜ばれないものかを話したり、お互いの喜びや悲しみを福音の光に照らして分かち合ったり、誰か助けを必要としている人を選び、家族皆で助ける機会を作るなど、様々な方法があるでしょう。子供たちを教育するのは、両親の責任です。教会としての役割は、そのような両親と共に歩み、子供たちの教育を助け、子供たちを教える両親を整えることです。

3. 家族に手を差し伸べる

聖書はまた、助けを必要としている家族に手を差し伸べるように、とクリスチャンに命じています。

デモテへの手紙第一5章3～8、14～16節



やもめの中でもほんとうのやもめを敬いなさい。しかし、もし、やもめに子どもか孫がいるなら、まずこれらの者に、自分の家の者に敬愛を示し、親の恩に報いる習慣をつけさせなさい。それが神に喜ばれることです。ほんとうのやもめで、身寄りのない人は、望みを神に置いて、昼も夜も絶えず神に願いと祈りをささげていますが、自堕落な生活をしているやもめは、生きてはいても、もう死んだ者なのです。彼女たちがそしりを受けることのないように、これらのことを命じなさい。もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。...ですから、私が願うのは、若いやもめは結婚し、子どもを産み、家庭を

you today shall be on your heart. You shall teach them diligently to your children, and shall talk of them when you sit in your house, and when you walk by the way, and when you lie down, and when you rise. You shall bind them as a sign on your hand, and they shall be as frontlets between your eyes. You shall write them on the doorposts of your house and on your gates."

Like Moses commanded God's people in Deuteronomy 6, parents should instruct their children in the way of God all the time—as you eat dinner together, as you sit together in your living room, as you travel together throughout the city, etc. Use opportunities in daily life to talk about God. Talk about what is pleasing or displeasing to God in a movie or TV show you watch together, process together the joys and sorrows of life in light of the gospel, take advantage of opportunities to together as a family randomly help someone in need, etc. It is the parent's responsibility to disciple their children. The church's role is to come alongside parents, aid in the discipleship of children, and equip parents to disciple their children.

3. Caring for Family

The Bible also commands Christians to care for our family members who need help.

1 Timothy 5:3-8, 14-16



Honor widows who are truly widows. But if a widow has children or grandchildren, let them first learn to show godliness to their own household and to make some return to their parents, for this is pleasing in the sight of God. She who is truly a widow, left all alone, has set her hope on God and continues in supplications and prayers night and day, but she who is self-indulgent is dead even while she lives. Command these things

治め、反対者にそしる機会を与えないことです。というのは、すでに、道を踏みはずし、サタンのあとについて行った者があるからです。もし信者である婦人の身内にやもめがいたら、その人がそのやもめを助け、教会には負担をかけないようにしなさい。そうすれば、教会はほんとうのやもめを助けることができます。

4. 神の家族

素晴らしい家族を持っている人も、複雑な家庭環境にある人も、地上の家族がいない人も、すべてのクリスチャンは父なる神によって、ひとり子イエスの死と復活を通して、神の家族の一員とされています。

マタイによる福音書 12章46～50節



イエスがまだ群衆に話しておられるときに、イエスの母と兄弟たちが、イエスに何か話そうとして、外に立っていた。すると、だれかが言った。「ご覧なさい。あなたのお母さんと兄弟たちが、あなたに話そうとして外に立っています。」しかし、イエスはそう言っている人に答えて言われた。「わたしの母とはだれですか。また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」それから、イエスは手を弟子たちのほうに差し伸べて言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。天におられるわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

エペソ人への手紙 2章19節



こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。

エペソ人への手紙 1章4～5節



すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、... みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

イエスにあって、私たちは、みな神様の家族です。

as well, so that they may be without reproach. But if anyone does not provide for his relatives, and especially for members of his household, he has denied the faith and is worse than an unbeliever. ... So I would have younger widows marry, bear children, manage their households, and give the adversary no occasion for slander. For some have already strayed after Satan. If any believing woman has relatives who are widows, let her care for them. Let the church not be burdened, so that it may care for those who are truly widows.

4. God's Family

Whether we have a wonderful family, a challenging family, or no earthly family, every Christian has been adopted by God the Father, through the death and resurrection of his Son Jesus, into the family of God.

Matthew 12:46-50



While he was still speaking to the people, behold, his mother and his brothers stood outside, asking to speak to him. But he replied to the man who told him, "Who is my mother, and who are my brothers?" And stretching out his hand toward his disciples, he said, "Here are my mother and my brothers! For whoever does the will of my Father in heaven is my brother and sister and mother."

Ephesians 2:19



So then you are no longer strangers and aliens, but you are fellow citizens with the saints and members of the household of God...

Ephesians 1:4-5



In love he predestined us for adoption as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will...

In Christ we all have a place in the family and household of God.

神の使命

これから紹介する考え方は、あなたにとっては聞いたことのない考え方かもしれませんが、それは、あなたの家族はあなたの「隣人」でもある、ということです。つまり、イエスが隣人を愛せよと命じられたことば—「あなたの隣人をあなたの自身のように愛せよ」、「何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい」、「あなたがたは言って、あらゆる国の人々を弟子としなさい」—は、あなたの家族全員にも当てはまるのです（マルコの福音書12章31節、マタイの福音書7章12節、28章19節）。

子供・孫としての役割：

神は、あなたが神に愛されているように、両親や祖父母を愛することを願っておられます。両親と祖父母に従い、仕え、彼らを祝福し、助け、彼らのために祈りましょう。あなたには、彼らを赦し、敬う義務があります。また口を開き、敬意を持って、大胆に福音を伝えなければいけません。もし彼らがイエスを拒否したり、あなたの信仰に反対したりする場合はどうすれば良いでしょうか？あなたがイエスを信じることを、彼らが禁じるとしたら？私たちは両親に従い、敬意を払うべきですが、神の権威は彼らの権威を上回ります。ですから、このような極端な場合は、両親に従うよりも神に従うべきです。しかし、決して、両親に対する謙遜な態度や、尊敬と愛を忘れてはいけません。もしかすると、いつの日か神の愛に触れて、彼らの心が開かれるかもしれません。そのような希望をもって、生き、祈り、証しましょう。

親としての役割：

神に弟子を作るようにと招かれたとき、そこには私たちの子供たちも含まれています。私たちには、子供たちがキリストを信じるように動かすことはできませんし、信仰を強制するのは良くありません。しかし、私たちが子供たちにとって良き証し人であることはできます。寝る前にイエスの物語を話したり、家族と一緒に聖書を読んだり、共に祈ったり、教会と一緒に礼拝に参加したりしましょう。子供たちが不従順であるときは恵みと赦しをもって彼らと接し、あなたが彼らに対して罪を犯したときはへりくだって謝りましょう。家族内の価値観やスケジュールにおいて、神を最優先し、神が最も大切であり、あなたの行動すべての土台であることを、常に示しましょう。

使徒の働き16章31節



「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」

God's Mission

Here is a potentially revelatory idea—the members of your family are also your “neighbors.” In other words, Jesus' commands to love your neighbors—“Love your neighbor as yourself”; “Whatever you wish others would do to you, do also to them”; and “Make disciples of all nations”—apply to your family members as well (Mark 12:31, Matthew 7:12, 28:19).

Your Role as a Child or Grandchild

God wants you to love your parents and grandparents with a love like his love for you. God wants you to obey, serve, bless, care for, and pray for your parents and grandparents. You need to forgive them. You need to respect them. And you need to open your mouth and respectfully and boldly share the gospel with them. What if they reject Jesus or even oppose your faith? What if they forbid your faith in Jesus? We are told to obey and honor our parents, but God's authority supersedes their authority, so in extreme cases like this, we must obey God rather than our parents. However, this must be done with humility, respect, honor, and love toward our parents. Perhaps someday their hearts will soften to God's love. Live, pray, and witness to them with such a hope.

Your Role as a Parent

God has called us to make disciples, including our own children. We cannot cause our children to believe in Christ, and pressuring them to believe is not good. But we can be a faithful witness to our kids. Tell them stories of Jesus at bedtime, read the Bible together as a family, pray together, and worship together at church. Model the gospel to your children by offering grace and forgiveness when they disobey and by humbly apologizing yourself when you sin against them. Uphold family values and a family schedule that prioritizes God as most important and as the foundation for everything you do.

Acts 16:31

“Believe in the Lord Jesus, and you will be saved, you and your household.”

互いに励まし合いましょう：

🗣️ あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

🗣️ あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

🗣️ あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

🗣️ 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Encourage One Another:

🗣️ *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*

🗣️ *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

🗣️ *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

🗣️ *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

9

ステップ9 奉仕

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗣️ 前は家族について学びました。その時学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

イエスがされたように、人に仕え、人を愛することは、クリスチャンとしての歩みにおいて大切な部分です。イエスを私たちの模範として、クリスチャンとしての歩みがいかに奉仕の歩みであるか、ということについて、学びましょう。

9

Step 9 Service

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.


God's Word


Share:

🗣️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time about family.

An important part of the Christian life is striving to serve and love others in the same way Jesus did. With him as our example, let's study about how the Christian life is a life of service.


ヨハネによる福音書13章1～5節、12～17節


 「さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。夕食の間のことであった。悪魔はすでにシモンの子イスカリオテ・ユダの心に、イエスを売ろうとする思いを入れていたが、イエスは、父が万物を自分の手に渡されたことと、ご自分が神から出て神に行くことを知られ、夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまとっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。...イエスは、彼らの足を洗い終わり、上着を着けて、再び席に着いて、彼らに言われた。『わたしがあなたがたに何をしたか、わかりますか。あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。まことに、まことに、あなたがたに告げます。しもべはその主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさるものではありません。あなたがたがこれらのことを知っているのなら、それを行うときに、あなたがたは祝福されるのです。』」

 考えましょう：この聖書箇所から、奉仕について何を学ぶことができますか？

上記の聖書箇所で、イエスはご自身を「主」または「先生」と呼びながらも、しもべのような行動をとっておられます。弟子たちの足を洗うを通して、イエスはリーダーである者（でさえも）が実践すべきこと、つまり奉仕について教えられました。イエスは弟子たち（そして現在の私たち）に、足を洗われたのは奉仕の模範であると言われ、私たちも同じように互いに仕え合うべきだと言われました。それを行う時に、私たちは祝福されるのです。


John 13:1-5, 12-17

 “Now before the Feast of the Passover, when Jesus knew that his hour had come to depart out of this world to the Father, having loved his own who were in the world, he loved them to the end. During supper, when the devil had already put it into the heart of Judas Iscariot, Simon's son, to betray him, Jesus, knowing that the Father had given all things into his hands, and that he had come from God and was going back to God, rose from supper. He laid aside his outer garments, and taking a towel, tied it around his waist. Then he poured water into a basin and began to wash the disciples' feet and to wipe them with the towel that was wrapped around him. ... When he had washed their feet and put on his outer garments and resumed his place, he said to them, “Do you understand what I have done to you? You call me Teacher and Lord, and you are right, for so I am. If I then, your Lord and Teacher, have washed your feet, you also ought to wash one another's feet. For I have given you an example, that you also should do just as I have done to you. Truly, truly, I say to you, a servant is not greater than his master, nor is a messenger greater than the one who sent him. If you know these things, blessed are you if you do them.”

 Consider: What can we learn about service from this passage of Scripture?

In the passage above, Jesus calls himself "Lord" and "Teacher", but acts like a servant. By washing his disciples' feet, he shows us what even leaders should do—serve. Jesus tells the disciples (and us today) that he is washing their feet as an example of service, and that we are also to serve one another—we are blessed if we do these things.


ガラテヤ人への手紙5章13～14節


 兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。律法の全体は、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」という一語をもって全うされるのです。

教会内での奉仕

他の人の必要を自分の必要より優先させることを通して、イエスが模範を示された自己犠牲の奉仕に倣いましょう。

ピリピ人への手紙2章3～5節


 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。

 考えましょう：上記のみことばは、あなたの心に響きますか？このような奉仕の姿勢は、私たちが教会の交わりに参加する上でどのような影響をもたらしますか？

教会の交わりに参加する時、自分だけの必要が満たされるように、という自己中心的な願いを持って参加しないようにしましょう。むしろ、他の人の必要が満たされるように望むべきです。誰も、他の人の足を洗いたいとは思いませんでした。洗足をする人たちは、人から認められず、奉仕に対して感謝もされない人たちでした。それにも関わらず、イエスは弟子たちの足を洗われたのです。

「あなたは教会でどのような奉仕をしますか？」この質問は、大切であり、必要な質問です。この質問に答えるために、神があなたに与えてくださった能力、特技、霊的な賜物などが何かを考えてみましょう。あなたは神に造られ、特別な賜物を与えられていることを忘れないでください。また別のアプローチとして「私は何が得意だろうか？」という問いから始める代わりに、教会の中で最も大きな必要がどこにあるかを見極め、そしてその必要に合わせて動き始める方法も、とても良い出発点となるかもしれません。


Galatians 5:13-14


 *For you were called to freedom, brothers. Only do not use your freedom as an opportunity for the flesh, but through love serve one another. For the whole law is fulfilled in one word: "You shall love your neighbor as yourself."*

Serve Inside the Church Community

Follow Jesus' example of selfless service by putting others' needs above your own.


Philippians 2:3-5

 *Do nothing from selfish ambition or conceit, but in humility count others more significant than yourselves. Let each of you look not only to his own interests, but also to the interests of others. Have this mind among yourselves, which is yours in Christ Jesus.*

 *Consider: Is the Scripture above convicting for you at all? How does this attitude affect the way we participate in the church community?*

Do not participate in the church community with a selfish desire to meet your own needs but rather with humility, seeking to meet others' needs. No one wanted to wash others' feet. Foot-washers were neither recognized nor thanked for their service. Yet Jesus washed his disciples' feet.


How will you serve in the church? This is an important and necessary question to ask. To answer, consider the talents, abilities and spiritual gifts God has given you. Keep in mind that you are created by God and uniquely gifted. Alternatively, rather than starting with the question, "What am I good at?" sometimes the best place to begin is finding out where the biggest needs are in the church community and to start meeting those needs.

 考えましょう：私たちの教会の交わりにおいて、あなたはどのような必要に応えることができますか？


教会には、奉仕の機会が沢山あります。あなたがどのような奉仕ができるか、積極的に教会のスタッフや他のクリスチャンに尋ねてみましょう。

教会外での奉仕


マタイによる福音書5章14～16節

 あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。


私たちが周囲の人々に仕え、善行を行うとき、私たちはその地域で神の愛と福音を示す光となります。奉仕の機会はほとんどが予想外に訪れます。私たちはそのような機会が訪れた時、いつでも飛び込んでいけるように準備しておかなければいけません。

 考えましょう：私たちの地域において、教会としてどのような必要に応えられるでしょうか？

ミカ書6章8節

 主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。【主】は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。


あなたの周りで、孤児、未亡人、お年寄り、子供たち、シングルマザー、落ち込んでいる人、孤独な人、見捨てられている人、いじめられている人など、助けを必要としている人に憐れみの心を示しましょう。目を開き、世界中に見られる社会的不公平からくる問題に意識を向けましょう。

 Consider: What needs could you help meet in our church community?


There are many opportunities to serve at the church. Be proactive and ask church staff or other Christians about ways you may be able to serve.

Serve Outside the Church Community


Matthew 5:14-16

 “You are the light of the world. A city set on a hill cannot be hidden. Nor do people light a lamp and put it under a basket, but on a stand, and it gives light to all in the house. In the same way, let your light shine before others, so that they may see your good works and give glory to your Father who is in heaven.”


We will be a light of God's love and gospel in our communities when we serve and do good deeds for those around us. Service opportunities are often unplanned events. We must be ready to jump to action when such opportunities arise.

 Consider: What needs can we as a church meet in the community around us?


Micah 6:8

 He has told you, O man, what is good; and what does the Lord require of you but to do justice, and to love kindness, and to walk humbly with your God?


Show mercy toward those around you who need help: orphans, widows, elderly, children, single mothers, the depressed, the lonely, the outcast, the bullied, etc. Open your eyes to addressing the problem of social injustice around the world.

 考えましょう：私たちの地域、街、国では、どのような社会的不公平からくる問題があるのでしょうか？あなたはそれらの必要に応えるために、どのようなことができますか？

ガラテヤ人への手紙6章9節～10節

 善を行うのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることにになります。ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう。


一歩踏み出しましょう！

 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。


神の使命

福音を伝えるために、私たちは言葉を使わなければいけません。なぜなら福音は、様々なお知らせの中でもとても良いお知らせだからです。私たちは、私たちの生活を通して、そして人への愛と奉仕を通して、より力強く福音を証することができます。


ペテロの手紙第一2章12節

 異邦人の中であって、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行いを見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになります。


あなたの家庭、職場や学校、そして地域の人のために、具体的な奉仕の機会を探してみましょう。あなたの日々の生活に、クリスチャンでない友人や家族を招き、彼らに仕えましょう。キリストが私たちに仕えてくださったように、私たちが人に仕えることで、福音を伝える多くの機会が生まれ、私たちの証も信頼性が増します。人を愛し、人に仕えるとき、彼らを単なる奉仕の

 Consider: What issues of social justice are there in our community, city, and country? How can you help address these needs?

Galatians 6:9-10

 And let us not grow weary of doing good, for in due season we will reap, if we do not give up. So then, as we have opportunity, let us do good to everyone, and especially to those who are of the household of faith.


Take the Step!

 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission

We must use words in order to share the gospel because the gospel is news—very good news. We can augment our witness to the gospel by living, loving, and serving others.

1 Peter 2:12

 Keep your conduct among the Gentiles honorable, so that when they speak against you as evildoers, they may see your good deeds and glorify God on the day of visitation.

Look for opportunities to love others by practically serving those around you, in your home, at work or school, and in your community. Invite non-Christian friends and family into your daily life and family life to serve them. Serving others as Christ served us creates an opportunity to share the gospel and gives credibility to our witness.

対称として見たり、相手を変えようとして接するべきではありません。私たちが愛し仕えるのは、純粋に神の愛に促されたゆえの行動であるべきです。クリスチャンとして、私たちは何の見返りも期待せずに奉仕します。このような自己犠牲の奉仕は光のように輝き、そこで私たちに福音を分かち合うこともできるなら、人々を神の愛へと導きます。

互いに励まし合いましょう：

🗨 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

🗨 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように。

他の祈りの課題：

🗨 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

We should not love and serve others because we see them as projects or as people who we want to change—we should love and serve others sincerely because God's love compels us. As Christians we serve people without expecting anything in return. And this selfless service will shine like a light, leading people to God's love—if we also open our mouths to share.

Encourage One Another:

🗨 *What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?*

🗨 *How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?*

Pray for One Another:

🗨 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

🗨 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.

10

ステップ 10 勤勉

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

🗨️ 前は奉仕について学びました。その時学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

仕事は、私たちの生活の大部分を占めています。それが正社員としての仕事であれ、アルバイトや学校、子育て、また家事であっても、それぞれが違った種類の仕事であり、私たちのスケジュールの大半を占め、最もエネルギーを費やすものであることに変わりありません。では、仕事について聖書がどのように教えているのか、見てみましょう。

10

Step 10 Work

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

🗨️ Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time about serving.

Work is what we spend the majority of our life doing. Whether it is a salaried job, a part-time job, school, raising children, or housework, these are activities that occupy the majority of our schedules and consume most of our energy—these are all types of work. Let's see what the Bible has to say about our work.

💬 考えましょう：あなたの仕事に対する気持ちは、どちらかというと積極的、それとも消極的でしょうか？

1. 仕事は私たちのために神が造られたもの

創世記1章28節、2章15節

✚ 神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」...神である【主】は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。

神が造られた世界には非の打ちどころがありませんでした。そのような欠陥のない創造の一部分として神は仕事を造られ、人間に贈り物として与えられました。新しい創造、つまり天国においても、仕事は続けて存在します。神は、人間を働く存在として造られたのです。

💬 考えましょう：仕事が上手くいった時、喜びや満足感を得たことはありますか？

2. 仕事は罪の介入によって墜落した

創世記3章17～19節

✚ また、人に仰せられた。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならぬ。土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。」

💬 Consider: Are your overall feelings about work positive or negative?

1. Work was created by God for us

Genesis 1:28 & 2:15

✚ And God blessed them. And God said to them, "Be fruitful and multiply and fill the earth and subdue it, and have dominion over the fish of the sea and over the birds of the heavens and over every living thing that moves on the earth." ... The Lord God took the man and put him in the garden of Eden to work it and keep it.

The world as God created it was flawless. As part of his flawless design, God created work and gave it to humans as a gift. Work will continue to exist in the New Creation—heaven. God created humans to work.

💬 Consider: Have you experienced joy and satisfaction from a good day's work?

2. Work was corrupted by the Fall

Genesis 3:17-19

✚ And to Adam he said, "Because you have listened to the voice of your wife and have eaten of the tree of which I commanded you, 'You shall not eat of it,' cursed is the ground because of you; in pain you shall eat of it all the days of your life; thorns and thistles it shall bring forth for you; and you shall eat the plants of the field. By the sweat of your face you shall eat bread, till you return to the ground, for out of it you were taken; for you are dust, and to dust you shall return."

罪の結果、世界はもはや完璧ではなくなりました。例えば農夫がいばらと格闘し汗を流すように、仕事は困難なものとなったのです。仕事は、ストレスと労苦が多く、思い描いている通りに進むことは滅多にありません。人間の仕事に対する思いや動機もまた、歪んでいます。神はこのような仕事の困難さを用いて、将来のイエスによる贖いに希望を抱くように導いておられます（ローマ人への手紙8章18～25節参照）。

バランス

私たちの心は罪深く、この世界も罪深いため、健全で神を敬う仕事のバランスを取ることは困難です。私たちは一方で、怠惰という罪によって不満をこぼしたり、悲観したりします。しかしもう一方では、働き過ぎるとまた神を敬わないになるのです。また、仕事は日々私たちの時間の多く奪い取ってしまう傾向があります。そのため、主と、家族と、教会での交わりのための時間が奪われてしまう可能性があるのです。多くの場合、働き過ぎるのは神を愛し、人を愛することより、生産性、成功、他人（上司や同僚）の意見に対する恐怖など、他のものを重要視していることを示しています。クリスチャンとして、私たちは健全な仕事のバランスを取るように努めなければいけません。私たちの優先順位は第一に神、第二に家族、そして第三に仕事であるべきです。

🗨️ 考えましょう：仕事とプライベート（個人・家族との生活など）のバランスを取るのには難しいと感じていますか？あなたは怠けてしまう傾向にありますか？それとも働きすぎる傾向にありますか？

3. 仕事はイエス・キリストによって回復された

神は私たちを見捨てず、この壊れた世界を回復させるために、神の子イエスを贖い主として送ってくださいました。被造物の回復は、現在イエスを通して部分的に感じることができますが、後の日にはすべてが完全に新しくされます（黙示録21～22章参照）。日々の仕事は、今現在は困難な試練かもしれませんが、イエスによって仕事から満足を得ることができ、働くことの意味や目的を見出すことができるのです。

As a result of sin the world is no longer flawless. Work now is difficult—for example, thorns and sweat for the farmer. Work is frustrating, toilsome, and seldom goes as well as we hope. Human's hearts and motivations regarding work are also broken. God uses the frustrations of work to lead our hearts to hope for future redemption in Jesus (see Romans 8:18-25).

Balance

Because our hearts are sinful and the world is sinful, it is difficult to find a healthy, God-honoring balance of work. On the one hand, laziness is sinful and can leave us feeling dissatisfied and depressed. On the other hand, overwork is dishonoring to God. Work also has the potential to take up a lot of our time each day, time that can take us away from time with the Lord and our families, and our church community. Overworking often indicates that we are elevating something above loving God and loving others: productivity, success, fear of other's opinions (bosses or co-workers), etc. As Christians we should strive to have a healthy balance of work, prioritizing God first, our family second, and work third.

🗨️ Consider: Do you struggle with balancing work and life (personal life, family life, etc.)? Do you tend to lean more toward laziness or overwork?

3. Work has been redeemed through Jesus Christ

God has not abandoned us, but has sent his Son Jesus as a redeemer to fix this broken world. The redemption of creation is partially experienced now through Jesus and one day will be fully restored (see Revelation 21-22). Though it is a difficult struggle, through Jesus it is now possible to experience satisfaction, meaning, and purpose in our daily work lives.

4. 私たちの仕事は、神からの意味ある召し

神は被造物のすべての必要を満たしてください。

詩篇145編15～16節



すべての目は、あなたを待ち望んでいます。あなたは時にかなって、彼らに食物を与えられます。あなたは御手を開き、すべての生けるものの願いを満たされます。

神は被造物の必要を満たすのに、人間の仕事をを用いることがあります。農夫によって収穫された米は、トラックの運転手によって配達され、仲介者によって宣伝され、小売店の販売員によって販売されるのです。ですから、私たちは働くことによって、神の仲介者として被造物を育て養う働きに加わっているのです。

世界の初めから、神は人間を被造物の支配者として定められ、人の益のためにこれらを管理し治めるよう命じられました（上記の創世記1章28節参照）。

仕事の品格と価値

神が被造物を養い、その必要を満たす働きに加わる仕事には、品格と価値があります。例えば、清掃作業員は環境を清潔に健康的に保ち、人々の生活環境の向上に貢献しています。また専業主婦は、家庭と家族を支えています。教師は子供たちを教育し、警察官や消防士は社会の安全を守り、役人や経営者は、人々が様々な仕事を通して共に働くための手助けをします。広告会社は、便利で質の良い商品の人々が見つけることができるように助け、販売員や小売業者、配達業者の仕事によって、それらの商品が人々の手元に届くのです。

墜落した世界では、人間の罪や中毒に頼る仕事が存在することも事実です。クリスチャンとして、私たちはこのような職業を支持したり、自らがその奴隷となったりすることのないようにすべきです。

4. Our Work is a Meaningful Calling

God provides for the needs of his creation.

Psalm 145:15-16



The eyes of all look to you, and you give them their food in due season. You open your hand; you satisfy the desire of every living thing.

In part, God provides for creation through the daily work of human beings—from the farmer who harvests the rice, to the truck driver who transports it, to the agent who advertises it, to the retail clerk who sells it. Thus, by doing our work we are joining God as his agent for cultivating and caring for his creation.

From the beginning God has called humans to be caretakers of his creation, stewarding it and mastering it for the benefit of mankind (see Genesis 1:28 above).

The Dignity and Value of Work

Work that joins God in his work of caring and providing for his creation has dignity and value. For example, sanitation workers help keep environments clean and healthy, improving the quality of people's lives. Homemakers take care of the home and family. Teachers educate children, police and firefighters keep society safe, and administrators and managers help people doing different jobs work together. Advertisers help people discover useful and high-quality products, while salespeople, retailers, and delivery workers help people obtain them.

We know that in a fallen world, some work preys on the sins and addictions of others. As Christians we should not support these professions or fall prey to them ourselves.

あなたが小さな製品を作る会社や工場に勤めているとしましょう。もしその製品が人々の生活を少しでも良くすることに役立っているならば、たとえその作業が退屈であったとしても、あなたの仕事には価値があります。なぜなら、あなたは神が被造物を養う働きに加わっているからです。あなたは、自分自身やその仕事、肩書き、会社よりも大きな働きの一部なのです。聖書は、私たちがどのような仕事をしようと、人ではなく神に雇われていると考え、クリスチャンとして仕事に全力を尽くすようにと教えています。

🗨️ 考えましょう：あなたの仕事は、神が被造物を養う働きにおいてどのような役割を担っていると思いますか？仕事について聖書的観点を学んだ今、あなたは自分の仕事について少し違った視点から見て考えられるようになりましたか？

クリスチャンとして私たちが励まし合う最善の方法は、みことばの真実を互いに思い起こさせ合うことです。ここでは、聖書が仕事について教えている箇所をいくつか見てみましょう。

5. クリスチャンとして私たちは神のために働く

コロサイ人への手紙3章23節

📖 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。

コリント人への手紙第一10章31節

📖 こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。

私たちは神の力によって働く

ペテロの手紙第一4章11節

📖 語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。栄光と支配が世々限りなくキリストにありますように。アーメン。

If you work for a company or in a factory that produces some small product, provides a service, or sells things that makes people's lives a little better, even if the process is boring, your job has value because you are participating in God's care for his creation. You are a part of something much bigger than yourself, your job, title, or company. No matter what sort of work we do, as Christians the Bible tells us to do our work with the best effort we can, as if we were working for God instead of men.

🗨️ Consider: How is your job a means for God to provide for his creation? How does the above Biblical perspective on work make you look at your work differently?

As Christians, the best way we can encourage one another is to remind each other of the truths of scripture. Here are just a few examples of what the Bible has to say about our work.

5. As Christians we work for God

Colossians 3:23

📖 Whatever you do, work heartily, as for the Lord and not for men...

1 Corinthians 10:31

📖 So, whether you eat or drink, or whatever you do, do all to the glory of God.

We work by God's strength

1 Peter 4:11

📖 ...whoever serves, as one who serves by the strength that God supplies—in order that in everything God may be glorified through Jesus Christ. To him belong glory and dominion forever and ever. Amen.

💬 考えましょう：日々の仕事をこなすため、神が与えてくださる力に頼る必要を感じますか？

結論

あなたの仕事において、良いクリスチャンであるというのは、どういうことでしょうか？神の栄光のために、そして人の益となるために、力を尽くして仕事をしましょう。

一歩踏み出しましょう！

💬 少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

神の使命

使徒の働き 17章 16～21節、32～34節

✚ さて、アテネでふたりを待っていたパウロは、町が偶像でいっぱいなのを見て、心に憤りを感じた。そこでパウロは、会堂ではユダヤ人や神を敬う人たちと論じ、広場では毎日そこに居合わせた人たちと論じた。エピクロス派とストア派の哲学者たちも幾人かいて、パウロと論じ合っていたが、その中のある者たちは、「このおしゃべりは、何を言うつもりなのか」と言い、ほかの者たちは、「彼は外国の神々を伝えているらしい」と言った。パウロがイエスと復活とを宣べ伝えたからである。そこで彼らは、パウロをアレオパゴスに連れて行ってこう言った。「あなたの語っているその新しい教えがどんなものであるか、知らせていただけませんか。私たちににとっては珍しいことを聞かせてくださるので、それがいったいどんなものか、私たちは知りたいのです。」アテネ人も、そこに住む外国人もみな、何か耳新しいことを話したり、聞いたりすることだけで、日を過ごしていた。…死者の復活のことを聞くと、ある者たちはあざ笑い、ほかの者たちは、「このことについては、またいつか聞くことにしよう」と言った。こうして、パウロは彼らの中から出て行った。しかし、彼につき従って信仰に入った人たちもいた。それは、アレオパゴスの裁判官デオヌシオ、ダマリスという女、その他の人々であった。

💬 Consider: Do you need to trust in the strength God has given you to do your daily work?

Conclusion

What does it mean to be a good Christian insert your job? Do your job with excellence to the glory of God and the benefit of mankind.

Take the Step!

💬 Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission

Acts 17:16-21, 32-34

✚ Now while Paul was waiting for them at Athens, his spirit was provoked within him as he saw that the city was full of idols. So he reasoned in the synagogue with the Jews and the devout persons, and in the marketplace every day with those who happened to be there. Some of the Epicurean and Stoic philosophers also conversed with him. And some said, "What does this babbler wish to say?" Others said, "He seems to be a preacher of foreign divinities"—because he was preaching Jesus and the resurrection. And they took him and brought him to the Areopagus, saying, "May we know what this new teaching is that you are presenting? For you bring some strange things to our ears. We wish to know therefore what these things mean." Now all the Athenians and the foreigners who lived there would spend their time in nothing except telling or hearing something new. ... Now when they heard of the resurrection of the dead, some mocked. But others said, "We will hear you again about this." So Paul went out from their midst. But some men joined him and believed, among whom also were Dionysius the Areopagite and a woman named Damaris and others with them.

あなたがキリストを伝えるのに非常に良い相手は、仕事の同僚やクラスメートです。使徒の働き17章には、パウロが会堂（宗教的な場所）だけではなく、町の広場（非宗教的な場所、職場など）でもイエスについて語ったことが書かれています。これは、パウロが仕事を怠けて人々と語り合っていたという訳ではありません。それどころか、パウロが福音を伝えなかったための言い訳もしてないことが分かります。彼は、「職場でイエスのことを話したら自分がよく思われないかもしれない」などとは考えませんでした。中には、パウロや彼の考えを見下したり、福音を拒絶したりする人もいました。しかし、パウロにとって、福音を多くの人々に伝え、信じる人を見つけ出すためには、そのような扱いも苦になりませんでした。

職場や学校で福音を伝えるために、どのようなことから始められるでしょうか？

毎日職場の人々のために祈ることから始めましょう。キリストについて分かち合う機会が与えられるように、また福音に対して彼らの心が碎かれるように、神に祈り求めましょう。

あなたがクリスチャンであることを自然と同僚に伝えられる機会を活かしましょう。例えば、週末に何をしたのか尋ねられたとき、あなたが教会に行ったこと、そして教会に行く理由や何が楽しかったかについて話しましょう。

使徒の働き17章でも、町の広場で始まったイエスについての会話は、聴衆に福音を伝えるのにより自然な場所であるアレオパゴスに移動して続けられました。そのように、あなたも同僚やクラスメートを教会に誘ってみましょう。馴染みのある場所で待ち合わせ、一緒に教会に参加し、礼拝後は昼食を共にすると良いでしょう。

誰かが心配ごとや悩みを打ち明けた時、あなたがそのことを気にかけ、祈っていることを伝えましょう。その人の心の安らぎとなるイエスのことばを分かち合いましょう。

One of the best groups of people to share Christ with are your coworkers or classmates. In Acts 17 it says that Paul talked with people about Jesus both in the synagogue (a religious environment) and in the marketplace (a non-religious, workplace environment). This does not mean that Paul slacked off on his work in order to talk with people, but neither does this say that Paul made excuses for not sharing the gospel, such as, "They will think less of me if I talk about Jesus at work." Some people looked down on Paul and his ideas, and others rejected his gospel. But for Paul, sharing the gospel with many people and finding those who would believe was worth it.

How can we begin sharing the gospel with those at our work or school?

Begin by praying for people at your work each day, asking God to give you an opportunity to share about Christ and to soften their hearts toward the gospel.

Take advantage of natural opportunities to let people know you are a Christian. For example, when asked what you did over the weekend, tell a coworker you went to church and explain why you did so or what you enjoyed.

Even in Acts 17, the conversation about Jesus transitioned from the marketplace to the Areopagus, which was a more natural place to convey the gospel to a listening audience. Therefore, invite coworkers or classmates to come to church with you. Offer to meet them at a familiar location, go to church together, and do lunch afterwards.

When people share a concern or worry in their life, let them know you care and will be praying for them. Share something Jesus said that might bring them comfort.

同僚やクラスメートを昼食に誘い、「最近人生に起こった大きな変化」について分かち合いましょう。

子育て中の人へ：キリストの弟子を作りなさいという大宣教命令は、子供たちをキリストの弟子にするように、との命令でもあることを覚えておきましょう。神とみことばを生活リズムの中心するために何ができるか考えましょう。

使徒の働き17章にもあるように、拒絶する人もいれば、もっと詳しく知りたい、イエスを信じたい、という人もいます。拒まれ、嫌われることもあるかもしれません。神を信頼し、仕事においても神のために大胆に振る舞いましょう。

互いに励まし合いましょう：

🗣 あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？

🗣 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

互いのために祈りましょう：

🗣 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように

他の祈りの課題：

🗣 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Invite a coworker or classmate to lunch and share with them about “something that has been making a big change in your life recently”.

For those whose work involves raising children, remember that the great calling of making disciples includes making disciples out of our children. Think about how you can center your daily rhythms around God and his Word.

Like in Acts 17, some will reject, some will want to know more, and some will want to believe in Jesus. There will be rejection and not everyone will like you. Trust God and be bold for him at work.

Encourage One Another:

🗣 What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?

🗣 How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?

Pray for One Another:

🗣 Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

🗣 How can we pray for you?

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.




ステップ 11 霊的な攻撃


ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

 前は仕事について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

エペソ人への手紙6章10～12節

 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。




Step 11 Opposition


Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.

God's Word

Share:

 Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time as we talked about work.

Ephesians 6:10-12

 *Finally, be strong in the Lord and in the strength of his might. Put on the whole armor of God, that you may be able to stand against the schemes of the devil. For we do not wrestle against flesh and blood, but against the rulers, against the authorities, against the cosmic powers over this present darkness, against the spiritual forces of evil in the heavenly places.*

聖書は、この世界にある霊的な領域について、また神と神の民に敵対する悪魔や悪霊の存在について教えています。悪魔は私たちを告発し、誘惑する存在です。また盗んだり殺したり、私たちの喜びと神への信仰を失わせようとけしかけます（ヨハネの福音書10章10節）。悪魔の陰謀は、（1）誘惑、（2）罪の告発、（3）偽り、の3つにまとめることができます。

エペソ人への手紙6章13～17節

➡ ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、足には平和の福音の備えをはきなさい。これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。

1. 誘惑

ヤコブの手紙1章13～15節

➡ だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。

罪への誘惑は、私たちの住む世界からの影響や、私たちの内にある罪への欲望、そして悪魔が私たちを罪へと誘い込むことによって起こります。初めの人間であるアダムとエバは、悪魔からの誘惑を受けました。

創世記3章1～2節

➡ さて、神である【主】が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」女は蛇に言った「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。

The Bible teaches there exists a spiritual realm and an enemy of God and God's people: the devil and his demons. The devil is the accuser and tempter. He strives to steal, kill, and destroy our joy and faith in God (John 10:10). The devil's schemes can be summarized as (1) temptation, (2) accusation, and (3) deception.

Ephesians 6:13-17

➡ *Therefore take up the whole armor of God, that you may be able to withstand in the evil day, and having done all, to stand firm. Stand therefore, having fastened on the belt of truth, and having put on the breastplate of righteousness, and, as shoes for your feet, having put on the readiness given by the gospel of peace. In all circumstances take up the shield of faith, with which you can extinguish all the flaming darts of the evil one; and take the helmet of salvation, and the sword of the Spirit, which is the word of God....*

1. Temptation

James 1:13-15

➡ *Let no one say when he is tempted, "I am being tempted by God," for God cannot be tempted with evil, and he himself tempts no one. But each person is tempted when he is lured and enticed by his own desire. Then desire when it has conceived gives birth to sin, and sin when it is fully grown brings forth death.*


Temptation to sin comes from the influence of the world around us, from the sinful desires within us, and from the devil who entices us to sin. The first humans, Adam and Eve, were tempted by the devil:

Genesis 3:1-2

➡ *Now the serpent was more crafty than any other beast of the field that the LORD God had made. He said to the woman, "Did God actually say, 'You shall not eat of any tree in the garden'?"*

アダムとエバの欲望により（創世記3章6節）、二人は誘惑に負け、罪を犯しました。イエスも悪魔の誘惑を受けられましたが、罪を犯すことはありませんでした。

マタイによる福音書4章1節、9～10節


 さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。...言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」イエスは言われた。「引き下がり、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」

イエスは神を信頼することで悪魔の誘惑を防御し、神のことばの真理（イエスは聖書のことばを引用された）をもって反撃しました。それと同じように、エペソ6章は、私たちが信仰の大盾と御霊の与える剣、つまりみことばを用いるように教えています。

あなたが罪に誘惑されているときは、福音を思い出し、それを信じましょう。そして、神のことばを頭に思い浮かべるか、むしろそれを声に出してみましょう。クリスチャンは互いに神のことばの真理を思い起こさせ合う必要があります。あなたが葛藤していることについて、心を開き互いに正直に分かち合いましょう。そして、互いに神の真理を語り合いましょう。


ここで、例としていくつか神のことばを紹介します。これらを暗記し、誘惑を受けたときに思い出したり、他のクリスチャンに伝えたりすると良いでしょう。

- 物質主義 - マタイによる福音書6章19～21節
- 経済的不安 - マタイによる福音書6章33～34節
- 性的誘惑 - コリント人への手紙第一6章18～20節
- 怒り - ガラテヤ人への手紙5章22～23節
- 恐れ - 詩篇118篇6節
- 不安やストレス - ピリピ人への手紙4章6～7節

 考えましょう：他にも誘惑を受けたときに助けになったみことばはありますか？

Because of their desire (Genesis 3:6) Adam and Eve gave into temptation and sinned. Jesus, was tempted by the devil but he did not sin:

Matthew 4:1, 9-10

 *Then Jesus was led up by the Spirit into the wilderness to be tempted by the devil. ... And [the devil] said to [Jesus], "All these I will give you, if you will fall down and worship me." Then Jesus said to him, "Be gone, Satan! For it is written, "'You shall worship the Lord your God and him only shall you serve.'"*

Jesus defended against the temptations of the devil by trusting in God and fought back with the truth of God's Word (he quoted the Bible). Likewise we are told in Ephesians 6 to use the shield of faith and the sword of the Spirit, which is the Word of God.

When you are tempted to sin, remember the good news and believe it. And bring to mind or even quote out loud the Word of God. Christians should remind one another of the truth of God's Word. Be open and honest with one another about how you are struggling. Speak God's truth to one another.

Here are a few examples of God's Word that you can memorize and bring to mind or share with another Christian in the moment of temptation:

- Materialism - Matthew 6:19-21
- Financial Worry - Matthew 6:33-34
- Sexual Temptation - 1 Corinthians 6:18-20
- Anger - Galatians 5:22-23
- Fear - Psalm 118:6
- Anxiety/Stress - Philippians 4:6-7

 *Consider: What other scriptures help you in times of temptation?*

2. 罪の告発

悪魔は罪の告発者です—「サタン」という名前もこの言葉に由来しています（黙示録12章9～10節）。悪魔は、私たちが無価値で、醜く、愚かで、よこしまで、無用の存在だと、様々な言葉で囁きます。そして悪魔の最大の欺きは、私たちの罪は重すぎて神の救いと愛を受けることができない、という嘘を信じさせようと、私たちを非難し誘惑することです。そのような悪魔の告発と戦うには、私たちは救いの福音とキリストの義（救いのかぶとと正義の胸当て）を信じる必要があります。

ローマ人への手紙8章33～34節



神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。

ローマ人への手紙8章33～34節に描かれているのは法廷の場面です。神という裁判官の前で、悪魔が私たちを告発しているのです。しかし、イエス・キリストが神の右の座におられ、私たちの代わりにこう言ってくださるのです。「私は彼らのために死に、よみがえりました。彼らは赦され、神の子となり、愛されているのです。」悪魔は数々の罪を告発し非難しますが、最後に下される判決と真理は、私たちがキリストの血によって救われているということ、そしてその判決により悪魔のすべての告発が無効になるということなのです。

3. 偽り

悪魔が私たちを攻撃するために用いるもう一つの陰謀は、偽りを告げることです。

ヨハネによる福音書8章44節



悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。

2. Accusation

The devil is the accuser—it is what the name “Satan” means (Revelation 12:9-10). The devil tells us that we are invaluable, ugly, stupid, evil, worthless, etc. Worst of all, the devil condemns us and tempts us to believe the lie that we are too sinful to be saved or loved by God. The way we combat the devil’s accusations is by believing the gospel of our salvation and righteousness in Christ (like our helmet of salvation and breastplate of righteousness).

Romans 8:33-34



Who shall bring any charge against God’s elect? It is God who justifies. Who is to condemn? Christ Jesus is the one who died—more than that, who was raised—who is at the right hand of God, who indeed is interceding for us.

The imagery of the Romans 8:33-34 is of a courtroom where the devil condemns us before God the judge. But Jesus Christ sits at the right hand of God saying on our behalf, “I died and rose for them. They are forgiven and adopted and loved.” The devil makes many accusations and condemnations, but the final verdict and truth is that we are saved by the blood of Christ, a verdict which nullifies all the accusations of the devil.

3. Deception

Another scheme the devil uses to attack us is by speaking lies.

John 8:44



“[The devil] was a murderer from the beginning, and does not stand in the truth, because there is no truth in him. When he lies, he speaks out of his own character, for he is a liar and the father of lies.”

神は常に良いお方です。しかし悪魔は、神が良い方ではなく、正義でもない度々偽ります。私たちの人生に災難が降りかかるときこそ、悪魔はすかさず私たちの耳にこう囁くのです。「神はあなたを見捨てた。神はあなたを助けない。神はあなたを傷付けるためにこうしているんだ。」私たちはこの悪魔の偽りに対して、神のことばという真実をもって戦います。腰に締める帯のように、私たちは神の真理を知識として持ち、悪魔の偽りの攻撃を受けたら思い出すことができるように備えておかなければいけません。常に神のことばを読み、聖書のメッセージを聴き、互いに神の真理を語り合うことは、とても大切です。

信仰の戦いのときにしっかりと立つために、私たちは互いのために祈り合う必要があります。勝利は私たち自身の力で得るのではなく、神から来るのです。

エペソ人への手紙6章18～20節



すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

私たちが人生を終えるとき、誰もがパウロと共にこう宣言できますように。「私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。」(テモテへの手紙第二4章7節)

一歩踏み出しましょう！



少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

God is always good, but the devil often speaks lies to us saying that God is not good or just. When calamity happens in our lives, the devil is especially quick to whisper lies in our ears: "God will not take care of you. God will not help you. God did this to hurt you." We combat the lies of the devil with the truth, the truth of God's Word. Like a belt, we must be prepared by knowing God's truth so we can remember it when we are bombarded with lies. Regularly reading God's Word, listening to biblical preaching, and speaking God's truth to one another is very important.

In order to stand firm in the fight of faith, we need to pray for one another. Victory will not come through our own strength but from God.

Ephesians 6:18-20



... praying at all times in the Spirit, with all prayer and supplication. To that end keep alert with all perseverance, making supplication for all the saints, and also for me, that words may be given to me in opening my mouth boldly to proclaim the mystery of the gospel, for which I am an ambassador in chains, that I may declare it boldly, as I ought to speak.

May we all stand at the end of our lives and declare with Paul: "I have fought the good fight, I have finished the race, I have kept the faith." (2 Timothy 4:7).


Take the Step!



Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

神の使命


マタイによる福音書10章16～25節

 (イエスは言われた。)「いいですか。わたしが、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを議会に引き渡し、会堂でむち打ちますから。また、あなたがたは、わたしのゆえに、総督たちや王たちの前に連れて行かれます。それは、彼らと異邦人たちにあかしをするためです。人々があなたがたを引き渡したとき、どのように話そうか、何を話そうかと心配するには及びません。話すべきことは、そのとき示されるからです。というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話されるあなたがたの父の御霊だからです。兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に立ち逆らって、彼らを死なせます。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。彼らがこの町であなたがたを迫害するなら、次の町にのがれなさい。というわけは、確かなことをあなたがたに告げるのですが、人の子が来るまで、あなたがたは決してイスラエルの町々を巡り尽くせないからです。弟子はその師にまさらず、しもべはその主人にまさりません。弟子がその師のようになれば十分だし、しもべがその主人のようになれば十分です。彼らは家長をベルゼブルと呼ぶぐらいですから、ましてその家族の者のことは、何と呼ぶでしょう。」

私たちは、どのような敵に遭遇しても、決して諦めてはいけない使命を受けて遣わされています。今日の世界には、クリスチャンがこのみことばに書かれているような、またはそれ以上の迫害を受けている地域もあります。私たちの周囲の人々に嫌われることや、その人たちとの関係（家族、地域の仲間、社会など）から拒絶されることもまた、辛い迫害の一つです。どのような迫害に遭おうとも、私たちは救いを得るために、いのちの限り耐え抜き、イエスへの信仰に留まらなければいけません。私たちの教師であり主人であるイエスも、人々に嫌われ、家族から拒絶され、残酷な死に追いやられました。しかし、イエスのしもべである私たちが迫害を受けるのは当然のことです。むしろ、迫害を受けることでイエスのものであると認識されるなら、それは誇るべきことです。

God's Mission

Matthew 10:16-25

 Jesus said, "Behold, I am sending you out as sheep in the midst of wolves, so be wise as serpents and innocent as doves. Beware of men, for they will deliver you over to courts and flog you in their synagogues, and you will be dragged before governors and kings for my sake, to bear witness before them and the Gentiles. When they deliver you over, do not be anxious how you are to speak or what you are to say, for what you are to say will be given to you in that hour. For it is not you who speak, but the Spirit of your Father speaking through you. Brother will deliver brother over to death, and the father his child, and children will rise against parents and have them put to death, and you will be hated by all for my name's sake. But the one who endures to the end will be saved. When they persecute you in one town, flee to the next, for truly, I say to you, you will not have gone through all the towns of Israel before the Son of Man comes. A disciple is not above his teacher, nor a servant above his master. It is enough for the disciple to be like his teacher, and the servant like his master. If they have called the master of the house Beelzebul, how much more will they malign those of his household."

We have been sent on a mission that we cannot abandon no matter what kind of opposition we face. In some parts of the world today, Christians face persecution like that described here and worse. Being hated by those around us and rejected from the community (family, social group, society, etc.) is also a painful form of persecution. No matter what type of persecution we encounter, we must endure and remain faithful to Jesus to the end of our lives in order to be saved. Jesus, our teacher and master, was hated by men, rejected by his family, and brutally killed. It is natural that we his servants are likewise persecuted, and it is an honor to be identified with Jesus through persecution.

ヤコブの手紙1章2節

✚ さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。

マタイによる福音書10章26～33節

✚ （「だから、彼らを恐れてはいけません。おおわれているもので、現
 されないものではなく、隠されているもので知られずに済むものはあり
 ません。わたしが暗やみであなたがたに話すことを明るみで言いなさい。
 また、あなたがたが耳もとで聞くことを屋上で言い広めなさい。
 からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。
 そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼす
 ことのできる方を恐れなさい。二羽の雀は一アサリオンで売っている
 でしょう。しかし、そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しな
 しには地に落ちることはありません。また、あなたがたの頭の毛さえも、
 みな数えられています。だから恐れることはありません。あなたがたは、
 たくさんの雀よりもすぐれた者です。ですから、わたしを人の
 前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でそ
 の人を認めます。しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者
 なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らない
 と言います。」

死は、あなたに訪れる最悪の出来事ではありません。ゲヘナ（地獄）で滅ぼ
 されることの方が恐ろしいことです。クリスチャンは迫害や死を恐れる必要
 はありません。なぜなら、私たちには天国で神と永遠に生きる希望があるか
 らです。人が私たちに何をしようとも、それを恐れてはなりません。それよ
 りも、私たちは神を恐れ、地上での結果がどのようなものになろうとも神に
 従うべきです。私たちは一人ひとりに価値があり、神に愛されています。神
 は決して私たちが直面する試練を知らないのではなく、むしろ私たちを導き、
 守り、すべてが益となるように働かせてくださいます（ローマ人への手紙8
 章28節）。イエス・キリストに従う自分自身を、決して恥じることはない
 ようにしましょう。

James 1:2

✚ *Count it all joy, my brothers, when you meet trials of various kinds....*

Matthew 10:26-33

✚ *"So have no fear of them, for nothing is covered that will not be revealed, or hidden that will not be known. What I tell you in the dark, say in the light, and what you hear whispered, proclaim on the housetops. And do not fear those who kill the body but cannot kill the soul. Rather fear him who can destroy both soul and body in hell. Are not two sparrows sold for a penny? And not one of them will fall to the ground apart from your Father. But even the hairs of your head are all numbered. Fear not, therefore; you are of more value than many sparrows. So everyone who acknowledges me before men, I also will acknowledge before my Father who is in heaven, but whoever denies me before men, I also will deny before my Father who is in heaven."*

Death is not the worst thing that can happen to you. Being destroyed in hell is worse. Christians should not fear persecution or even death because we have hope of eternal life with God in heaven. We should not fear what men can do to us; rather, we should fear God and obey him no matter what the earthly consequences may be. Each of us is valuable and loved by God. God is not unaware of the trials we face but guides and protects us, working all things together for our good (Romans 8:28). Never be ashamed to identify yourself as a follower of Jesus Christ.

マタイによる福音書10章34～39節



「わたしが来たのは地に平和をもたらすためだと思ってはなりません。

わたしは、平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのです。なぜなら、わたしは人をその父に、娘をその母に、嫁をそのしゅうとめに逆らわせるために来たからです。さらに、家族の者がその人の敵となります。わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとします。」

あなたの家族がクリスチャンでない場合、あなたがイエスを信じる信仰によって家族との関係がこじれることがあるかもしれません。自分の家族から迫害を受けることは、最も辛い戦いとも言えるでしょう！しかし、クリスチャンであるあなたは、聖霊の力を受け、信仰を持つ前よりも家族に対して良い振る舞いができるはずです。聖霊の力によって家族を愛し、聖霊の力によって福音の良い知らせを伝えることができます。最終的に、私たちはイエスに忠実でなければなりません。家族や、自分の命をも含め、私たちはどんな存在よりもイエスを愛さなければいけません。

互いに励まし合いましょう：



あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？



あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

Matthew 10:34-39



"Do not think that I have come to bring peace to the earth. I have not come to bring peace, but a sword. For I have come to set a man against his father, and a daughter against her mother, and a daughter-in-law against her mother-in-law. And a person's enemies will be those of his own household. Whoever loves father or mother more than me is not worthy of me, and whoever loves son or daughter more than me is not worthy of me. And whoever does not take his cross and follow me is not worthy of me. Whoever finds his life will lose it, and whoever loses his life for my sake will find it."

If your family is not Christian, your faith in Jesus may complicate your relationship with your family members. Being persecuted by one's family can be one of the most painful forms of opposition! However, as a Christian you are empowered by the Holy Spirit to be a better family member than you were before you became a Christian—empowered to love and forgive others and empowered to share the good news of the gospel. Ultimately, our allegiance must be with Jesus. We must love him above everything, including our family and even our own life.

Encourage One Another:



What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?



How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?

互いのために祈りましょう：

💬 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。

互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように

他の祈りの課題：

💬 何か祈って欲しいことはありますか？

神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Pray for One Another:

💬 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

💬 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.


12

ステップ 12 いのち

ネクスト・ステップは、クリスチャンとの交わりの中で、私たちがキリストの弟子として成長するための学びです。それぞれの学びは「神のことば」と「神の使命」の2つのセクションに分かれています。

神のことば

分かち合いましょう：

 前は霊的な攻撃について学びました。そのとき学んだ神のことばに従うことが出来たでしょうか。少し時間を取って、正直に分かち合ってみましょう。

神の賜物とは、キリスト・イエスにある永遠のいのちです。私たちのキリストにある命は私たちが信仰を持ったときに始まり、今もそれを経験し、そして永遠に続きます。聖書は私たちが永遠のいのちを得た救いについて、神が過去にしてくださったこと、現在してくださっていること、また未来に約束してくださっていることについて説明しています。私たちは義と認められ(過去)、聖くされ(現在)、将来栄光を受けるのです(未来)。


12

Step 12 Life

Next Steps are designed to help us grow as Christians, in the context of Christian community, by focusing on two categories: obeying God's Word and doing God's Mission.


God's Word

Share:

 Take a few minutes to honestly share what it has been like as you've tried to obey what you learned from God's word last time as we talked about opposition.

The gift of God is eternal life in Jesus Christ. Our life in Christ began at our conversion and is being experienced by us presently, and will continue for eternity. The Bible describes our salvation to eternal life in terms of what God has done for us in the past, what he is doing in the present, and what he promises for our future. We have been justified (past), we are being sanctified (present), and we will be glorified (future).


過去：義と認められた（義認）**ローマ人への手紙3章24～26節**

 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現すためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。それは、今の時にご自身の義を現すためであり、こうして神ご自身が義であり、また、イエスを信じる者を義とお認めになるためなのです。

義と認められるとは、神によって「正しい」と宣言されることです。法廷を思い描いてみてください。裁判官である神が、「あなたは正しい」と被告人であるあなたに言われるのです。この判決はつまり、あなたは罰せられる代わりに神との永遠のいのちを楽しむということです。赦しは私たちの罪深い記録を帳消しにすることですが、義と認められることは、私たちがイエスの義によって覆われるということです。


イエスは私たちの罪と恥とを取り去っただけでなく、イエスの義を私たちに与えてくださいました。その義とは、イエスの神への完全なる従順の記録です。

コリント人への手紙第2章21節

 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。

私たちはイエスを信じたときに、神の恵みによって義と認められました。私たちはまだ罪を犯しますが、義と認められているという立場は変わりません。それはこの立場が、イエスによって十字架で完成されたみわざと復活によるものだからです。そのため、私たちは罪人であると同時に、聖徒なのです。


Past: Justification**Romans 3:24-26**

 *[We] are justified by his grace as a gift, through the redemption that is in Christ Jesus, whom God put forward as a propitiation by his blood, to be received by faith. This was to show God's righteousness, because in his divine forbearance he had passed over former sins. It was to show his righteousness at the present time, so that he might be just and the justifier of the one who has faith in Jesus.*

Justification is being declared righteous by God. Picture a courtroom, where God as judge says to you the defendant: "You are righteous." The implication of this verdict is that you will not be punished, but instead you will enjoy eternal life with God. While forgiveness is the pardoning of our sinful record, justification is the imputation of Jesus' righteousness.

Jesus has not only removed guilt and shame and has given us his righteousness--the record of his perfect obedience to God.

2 Corinthians 5:21

 *For our sake [God] made to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.*

We were justified by God's grace at the moment we believed in Jesus. Though we still sin, the verdict of our righteous status is unchanging because it is based upon Jesus' finished work on the cross and his resurrection. We are, therefore, simultaneously, sinners and saints.

私たちの実生活において、義認の意味を理解することは、私たちがクリスチャンとして歩むうえで大きな助けとなります。私たちの「義と認められている」という不変の判決は、罪を犯しても神の御前における私たちの立場が変わらないことを意味します。私たちが特に多く罪を犯した日でも神の愛は減りませんし、私たちが従ったからといって神の愛は増えません。神は私たちをいつも完全な愛で愛してください。さらに、私たちは行いではなく信仰によって義と認められているため、高慢になったり誇ったりする根拠はありません。私たちはキリストにあって、平安と喜びのうちに安らぎを得ています。キリストが私たちを救ってくださったと確信しているからです。これは過去の事実であり、今もとこしえまでも続く恵みなのです。

(「義と認めらるること」についてさらに詳しく読みたい方はローマ人への手紙1～5章を参照。)

現在：聖くされている（聖化）

ローマ人への手紙6章22節



しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです。

聖化とはイエスのようにさらに聖くされていくことの過程です。義認において私たちは「正しい」という立場を与えられ、聖化では、私たちが正しく生きるように少しずつ変えられるのです。

クリスチャンとして歩むとき、私たちは罪を犯すことをやめて、聖い人生を生きようと励みます。神の聖霊は私たちのうちに働いてこの願いを与え、それを実行し正しく生きる力を与えてくださいます。

ピリピ人への手紙2章12～13節



そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いの達成に努めなさい。神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。

Practically, it is very helpful to our Christian life for us to understand the implications of justification. The unchanging verdict of our having been justified means that our status before God does not change when we sin. God does not love us less on a day when we have been particularly sinful, nor does he loves us more when we obey--God loves us fully at all times. Furthermore, because we are justified by faith and not works we have no grounds for boasting or pride. With peace and joy we rest in Christ, assured that he has saved us--a past reality with present and eternal benefits.

(Read more about Justification in Romans 1-5.)

Present: Sanctification

Romans 6:22



But now that you have been set free from sin and have become slaves of God, the fruit you get leads to sanctification and its end, eternal life.

Sanctification is the ongoing process of being made more holy like Jesus. While in justification we are granted the status of righteous, in sanctification we are gradually changed into people who live righteously.

In the Christian life we strive to stop sinning and live a life of holiness. It is God's Holy Spirit that works in us to give us both the desire and power to do this and live rightly.


Philippians 2:12-13




Therefore, my beloved, as you have always obeyed, so now, not only as in my presence but much more in my absence, work out your own salvation with fear and trembling, for it is God who works in you, both to will and to work for his good pleasure.

神への愛、人への愛、そしてキリストのような人格は、私たちの人生における、御霊の働きによる「実」です。


ガラテヤ人への手紙5章22～23節

 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

 考えましょう：上記のガラテヤ5章の御霊の実の中で、あなたがクリスチャンになってからの歩みにおいて御霊が育んでくださっている実がありますか？ 一つ例を挙げてみましょう。


この聖化の過程は私たちが願っているよりもゆっくり進むことが多く、またこの一生の間に完了することはありません。しかし私たちには、将来と救いの完成への希望があります：

ピリピ人への手紙1章6節

 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は強く信じているのです。

未来：栄光を受ける（栄化）


コロサイ人への手紙3章4節


 私たちのいのちであるキリストが現われると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現われます。

栄光を受けるとは、神の栄光を余すところなく反映するために、天国で完全に聖く、潔白にされることです。私たちが天国で栄光を受けるとき、私たちはもう罪を犯すことがなく、神と永遠に生きます。私たちは義認によって罪の罰から救われ、聖化を通して罪の力から救われており、そして栄化によって罪の存在から救われるのです。

Love for God, love for others, and Christ-like character are "fruits" of the Spirit's work in our lives:


Galatians 5:22-23

 *But the fruit of the Spirit is love, joy, peace, patience, kindness, goodness, faithfulness, gentleness, self-control...*

 *Consider: Looking at the fruit of the Spirit in Galatians 5 above, what is an example of one of these fruits that the Spirit has been cultivating in your life since becoming a Christian?*


Though the process of sanctification is often slower than we desire and will not be fully completed in this lifetime, we have the good hope of a future and complete salvation:

Philippians 1:6

 *And I am sure of this, that he who began a good work in you will bring it to completion at the day of Jesus Christ.*

Future: Glorification

Colossians 3:4

 *When Christ who is your life appears, then you also will appear with him in glory.*

Glorification is being made completely holy and blameless in heaven to perfectly reflect the glory of God. When we have been glorified in heaven, we will not sin anymore and we will live with God for all eternity. We were saved from the penalty of sin in justification, we are being saved from the power of sin through sanctification, and we will be saved from the presence of sin in glorification.

人生には多くの試練、困難、また様々な苦難がありますが、私たちには天国でさらに大きな栄光が待っているという希望があります。

ローマ人への手紙8章18節



今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。

コリント人への手紙第二4章16～5章5節



ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があることを、私たちは知っています。それは、人の手によらない、天にある永遠の家です。私たちはこの幕屋にあってうめき、この天から与えられる住まいを着たいと望んでいます。それを着たなら、私たちは裸の状態になることはないからです。確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいと思うからでなく、かえって天からの住まいを着たいからです。そのことによって、死ぬべきものがいのちにのまれてしまうためにです。私たちをこのことにかなう者としてくださった方は神です。神は、その保証として御霊を下さいました。

神が私たちに栄光を与えるとき、私たちは完全なからだを得ます。もはや死もなく、嘆き、涙、そして痛みもありません（黙示録21章4節）。私たちはもはや、神に反して罪を犯すことも罪の誘惑を受けることもありません。むしろ神を愛し、互いに愛し合うようになるのです。



考えましょう：あなたは天国についてよく考えますか？天国についてあなたが楽しみにしていることは何ですか？

私たちが天国で永遠に神と共にいるために、キリストはまたすぐ来られ、私たちを救ってくださいます。天国で最も素晴らしいことは神と共にいられるということです。

Though life has many trails, hardships, and various kinds of suffering, we have the hope of an even greater glory awaiting us in heaven.

Romans 8:18



For I consider that the sufferings of this present time are not worth comparing with the glory that is to be revealed to us.

2 Corinthians 4:16-5:5



So we do not lose heart. Though our outer self is wasting away, our inner self is being renewed day by day. For this light momentary affliction is preparing for us an eternal weight of glory beyond all comparison, as we look not to the things that are seen but to the things that are unseen. For the things that are seen are transient, but the things that are unseen are eternal. For we know that if the tent that is our earthly home is destroyed, we have a building from God, a house not made with hands, eternal in the heavens. For in this tent we groan, longing to put on our heavenly dwelling, ... so that what is mortal may be swallowed up by life. He who has prepared us for this very thing is God, who has given us the Spirit as a guarantee.

When God glorifies us we will have perfect bodies--there will no longer be any death, mourning, crying, or pain (Revelation 21:4). We will no longer sin nor be tempted to sin against our God but rather will love God and one another.



Consider: How often do you think about heaven? What do you look forward to about heaven?

Christ will come again soon to save us to be with God forever in heaven. The greatest thing about heaven is that we get to be with God.

ヘブル人への手紙9章28節



キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

私たちはキリストの再臨を待つ間どのように生きるべきでしょうか？

キリストを信じ続けていましょう — 何があっても、私たちは最後まで信仰をもち、イエスから離れてはいけません。(マルコによる福音書13章13節)

期待しつつ待ちましょう — イエスはいつでも帰ってこられるかわかりません。今日かもしれませんし、明日かもしれません。また今から100年後かもしれません。期待する信仰をもって彼を待ちましょう。(マタイによる福音書24章36～44節)

聖く、敬虔な人生を送りましょう —

私たちは神に愛され、神の恵みによって救われているので、キリストが来られるときには純粋で責められるところがないようにと願っています。そのために、聖霊が私たちのいのちの最後まで働かれることを願うのです。(ピリピ人への手紙1章10節、テサロニケ人への手紙第一3章13節、5章23節)

「信仰の戦い」を戦いましょう

テモテへの手紙第一6章12～14節



信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、また、多くの証人たちの前でりっぱな告白をしました。私は、すべてのものにいのちを与える神と、ポンテオ・ピラトに対してすばらしい告白をもってあかしされたキリスト・イエスとの御前で、あなたに命じます。私たちの主イエス・キリストの現われの時まで、あなたは命令を守り、傷のない、非難されるところのない者でありなさい。

Hebrews 9:28



...Christ, having been offered once to bear the sins of many, will appear a second time, not to deal with sin but to save those who are eagerly waiting for him.

How should we live as we wait for Christ's return?

Keep believing in Jesus - No matter what happens we must continue to hold onto Jesus in faith until the end. (Mark 13:13)

Wait expectantly - Jesus could return at any moment. It could be today. It could be tomorrow. It could be 100 years from now. Wait for him with expectant faith. (Matthew 24:36-44)

Live lives of holiness and godliness - Because we have been loved by God and saved by his grace we long to be found pure and blameless at his coming, and therefore we want to allow the Spirit to work in our lives to this end. (Philippians 1:10, 1 Thessalonians 3:13, 5:23)

Fight the "fight of faith"

1 Timothy 6:12-14



Fight the good fight of the faith. Take hold of the eternal life to which you were called and about which you made the good confession in the presence of many witnesses. I charge you in the presence of God, who gives life to all things, and of Christ Jesus, who in his testimony before Pontius Pilate made the good confession, to keep the commandment unstained and free from reproach until the appearing of our Lord Jesus Christ....

自分の努力に頼っていては、私たちはこの戦いに勝つことはありません。イエス・キリストに頼り続けることが必要です。私たちはイエスにとどまり（ヨハネによる福音書15章1～5節）、そしてキリストの教会につながり続けなければなりません（ヘブル人への手紙10章25節；ステップ6参照）。祈りを通しての神との生き生きとした関係(ステップ2参照)、また神のことは(ステップ3参照)も重要です。

私たちは、神がただ恵みによって、生涯耐え抜くべき私たちの信仰を保ち、私たちが神の栄光を反映する完全なものとなるようにして下さることを確信しています。初めから終わりまで、私たちの救いはすべて神の恵み、愛、そして力によるものなのです。

ユダの手紙1章24～25節



あなたがたを、つまづかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に、すなわち、私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン。

一歩踏み出しましょう！



少し個々で時間を取って、今回のレッスンで学んだ内容について、あなたがどのように従うべきか、黙想し祈りましょう。そして互いにそのことを分かち合いましょう。次回の学びでまた、グループで分かち合います。

神の使命

「使徒の働き」には、初代教会の超自然的な、そして爆発的な成長についての話が記されています。迫害や多くの苦難があり、また近代的な交通手段やテクノロジーがなかったにも関わらず、福音のメッセージはアジア、アフリカ、そしてヨーロッパにすばやく広がりました。どのようにして福音はこれほどすばやく、広く、伝わったのでしょうか？それは聖霊による働きとしか考えられません。聖霊は神のメッセージを分かち合うクリスチャンを力づけ、またそのメッセージを聞く人たちの心をやわらかくします。また聖霊は、大胆に福音のメッセージを宣言する、ごく普通の弟子たちを通して、彼らの行く先々で働かれました。さらに、福音の急激な広まりは、まだ福音が伝わっていないところへ福音を広め、新しい教会を始めるための計画的、そして意図的な動きによるものでもありました。

We will not win this fight by trusting our own efforts—we need to continue to trust in Jesus Christ. We must abide in Jesus (John 15:1-5) and stay connected to his church (Hebrew 10:25; see Step 6). A vibrant relationship with God through prayer (see Step 2) and God's Word (see Step 3) is also vital.

We have confidence that God will, by his grace alone, sustain our faith—which must endure until the end—and make us perfect image bearers of his own glory. From start to finish our salvation is owing everything to God's grace, love, and power.

Jude 1:24-25



Now to him who is able to keep you from stumbling and to present you blameless before the presence of his glory with great joy, to the only God, our Savior, through Jesus Christ our Lord, be glory, majesty, dominion, and authority, before all time and now and forever. Amen.

Take the Step!



Take a moment individually to reflect and pray about how you will obey what you have learned. Share with one another about these things. Your group will ask you how this is going next time.

God's Mission

The book of Acts tells of the supernatural and explosive growth of the early church. Despite persecution, many hardships, and the lack of modern travel and technology, the gospel message rapidly spread throughout Asia, Africa, and Europe. How did the gospel spread so quickly and broadly? Certainly it was the work of the Holy Spirit. The Holy Spirit works to empower Christians to share God's message and also works to soften the hearts of those who hear. The Spirit worked through the bold verbal proclamation of the gospel message by ordinary disciples everywhere they went. Additionally, the gospel's rapid spread was certainly due in part to strategic and intentional efforts to take the gospel and start new churches in places where it had yet to be proclaimed.

このような急激な広がりについて、パウロはもう一つの重要な要素を示すヒントを私たちに与えています。

テモテへの手紙第二2章2節



多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。

パウロは、テモテが弟子を作り、またその弟子たちが他の人にも教えることができるように訓練しなさいと命じました。パウロはテモテを、テモテは「忠実な人たち」を、「忠実な人たち」は「他の人」を教えたのです。これこそ私たちのすべきことです。私たちは一世代だけの弟子を作るのではなく、何世代にも渡って次の弟子を作る弟子たちを育てるというビジョンを持つことが必要です。私たちは、忠実な人たちが他の人をも教えられる器となるように、訓練に励まなければなりません。そうすることによって、私たちが受けた、この素晴らしいいのちは、他の大勢の人たちに受け渡されていくのです。

あなたが誰かをキリストに導いたときは、ぜひネクスト・ステップを用いて彼らを訓練してください。彼らに、どのようにして家族や友達にキリストのことを分かち合うのかを教えましょう。あなたがプロの伝道者になる必要はありません。ただ単純にあなた自身の経験、試練、失敗、そして勝利を彼らと分かち合うことが一番の訓練方法の一つだからです。互いの歩みを定期的に正直に分かち合うこと、2週間ごとの目標を立てること、そして一緒に祈ることなどによって、彼らは早いうちに「弟子を生み出す弟子」を作り、育てられるようになります。そうするとそこからまた次の弟子作りと訓練が続いていくことでしょう。さらに多くの人たちが、イエスにあるいのちを体験することを祈ります。

互いに励まし合いましょう：



あなたが誰かにキリストを伝えるために、神はどのような機会を与えてくださいましたか？



あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人に対して、神はどのように働きかけられておられますか？

Paul gives us an insight to another important factor in the rapid multiplication:

2 Timothy 2:2



... and what you have heard from me in the presence of many witnesses entrust to faithful men who will be able to teach others also.

Paul instructed Timothy to make disciples and to train those disciples to teach others also. Paul taught Timothy who taught “faithful men” who taught “others”. This is what we need to do. We need to have a vision of not just one generation of disciples, but multiple generations of disciple-making disciples. We need to strive to train the faithful to teach others so that the great life we have received is passed along to many others.

When you lead someone to Christ, begin to disciple them using Next Steps. Teach them how to share Christ with their friends and family. You don’t have to be an expert in evangelism because simply sharing your own experiences, trials, failures, and victories is one of the best ways to train them. Holding one another accountable, setting bi-weekly goals, and praying together are things that will help lead them to soon begin making and training disciples who will make and train disciples. May more and more people experience life in Christ.

Encourage One Another:




What opportunities has God provided to lead others closer toward knowing Christ?




How have you seen God working in the lives of those you want to lead to Christ?

互いのために祈りましょう：

 あなたがキリストのもとに導きたいと思っている人のうち、少なくとも1人の名前を分かち合いましょう。その人がもう一歩キリストに近づくことができるように、あなたが次にしようと思っていることがはっきりしていれば、それを分かち合いましょう（例：教会に誘う、夕食に招待してあなたの証を分かち合う、ファースト・ステップの学びを一緒にする、聖書またはクリスチャン書籍をプレゼントする、など）。


互いのために日々祈るようにしましょう。（1）大胆さと知恵が与えられるように。（2）良い機会が与えられるように。（3）相手の心が開かれるように

他の祈りの課題：

 何か祈って欲しいことはありますか？


神の使命と、その他の祈りの課題、感謝していることについて、共に祈りましょう。

Pray for One Another:

 *Share at least one name of someone you want to win to Christ. If you know, share your next action step in leading them closer to knowing Christ (for example: invite them to church, take them out to dinner and share your testimony, study First Steps together, give them a Bible or Christian resources, etc.).*

Commit to praying for one another everyday: (1) For boldness and wisdom, (2) for opportunities, (3) for other's open hearts.

Other Prayer Requests:

 *How can we pray for you?*

Pray together about God's Mission and other requests and thanksgivings.